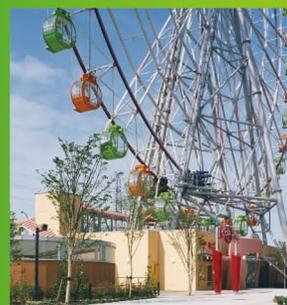
SEGA SAMMY GROUP

CSR REPORT 2015

グループ概要

セガサミーグループは、幅広い領域で事業展開する総合エンタテインメント企業グループとして、大人から子どもまであらゆる年代のお客さま、国内、海外のお客さまに創造性溢れるエンタテインメントを提供し続けています。

2015年4月より、傘下の事業会社を3事業グループに再編しました。

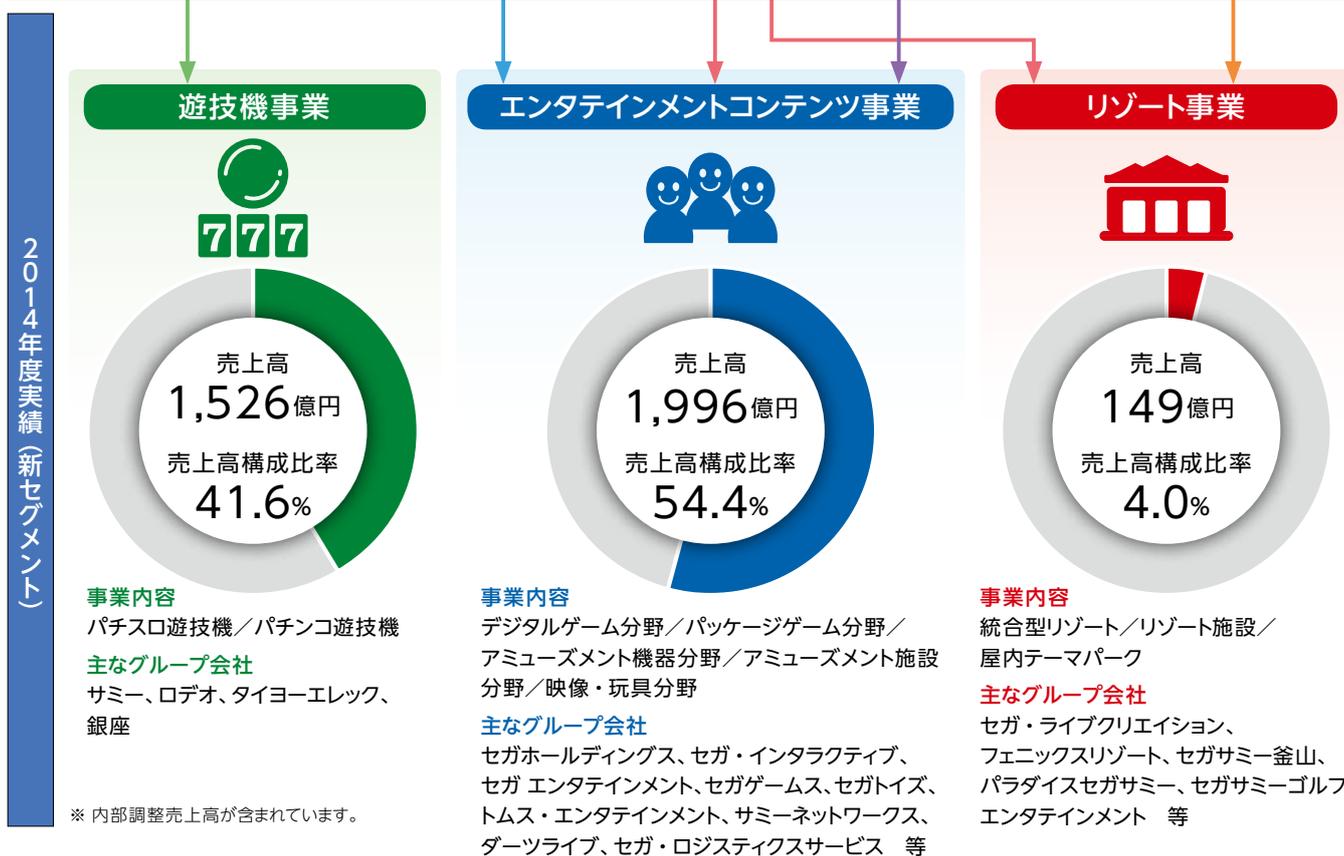
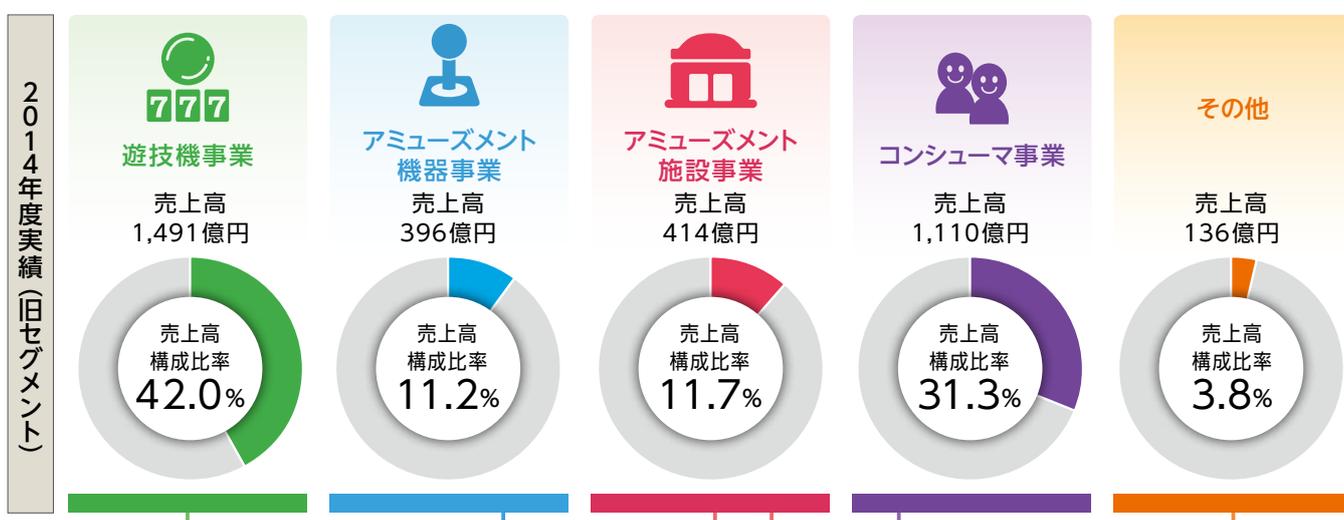
2014年度実績（旧セグメント）

事業	売上高	売上高構成比率
遊技機事業	1,491億円	42.0%
アミューズメント機器事業	396億円	11.2%
アミューズメント施設事業	414億円	11.7%
コンシューマ事業	1,110億円	31.3%
その他	136億円	3.8%

2014年度実績（新セグメント）

遊技機事業

売上高 1,526億円

売上高構成比率 41.6%

事業内容

パチスロ遊技機／パチンコ遊技機

主なグループ会社

サミー、ロデオ、タイヨーエレック、銀座

エンタテインメントコンテンツ事業

売上高 1,996億円

売上高構成比率 54.4%

事業内容

デジタルゲーム分野／パッケージゲーム分野／アミューズメント機器分野／アミューズメント施設分野／映像・玩具分野

主なグループ会社

セガホールディングス、セガ・インタラクティブ、セガ エンタテインメント、セガゲームス、セガトイズ、トムス・エンタテインメント、サミーネットワークス、ダーツライブ、セガ・ロジスティクスサービス　等

リゾート事業

売上高 149億円

売上高構成比率 4.0%

事業内容

統合型リゾート／リゾート施設／屋内テーマパーク

主なグループ会社

セガ・ライブクリエイション、フェニックスリゾート、セガサミー釜山、パラダイスセガサミー、セガサミーゴルフエンタテインメント　等

※ 内部調整売上高が含まれています。

会社概要

2015年3月31日現在

項目	内容
社名	セガサミーホールディングス株式会社
本社所在地	〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル21階
設立	2004年10月1日
資本金	299億円
代表取締役会長兼社長	里見　治
事業内容	総合エンタテインメント企業グループの持株会社として、グループの経営管理およびそれに附帯する業務
従業員数	118名

CONTENTS

編集方針

セガサミーグループの CSR 活動の取り組みを様々なステークホルダーの皆さまにご報告し、コミュニケーションを図りながら活動と情報開示を充実させていくことを目的として発行しています。セガサミー CSR 憲章に定めた 5 つのステークホルダー(「お客さま」「お取引先」「株主・投資家」「社員」「社会（環境と社会貢献)」)にかかわる活動報告として構成しています。

[参考にしたガイドライン]
GRI「サステナビリティ・レポーティング・ガイドライン第４版(G4)」
ISO26000 (社会的責任に関する手引き)

[発行時期]
2015年9月(前回発行：2014年9月、次回発行予定：2016年9月)

報告対象範囲

[対象期間]
2014年度 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)
一部対象期間外の活動も時期を明示して掲載しています。

[対象組織]
セガサミーホールディングス (株)、(株) セガホールディングス（主な事業グループ会社を含む)、サミー (株)
報告期間である2014年度の組織の活動を、2015年4月に再編した新たな3事業セグメント*の分類に準じて報告しています。
＊ 事業セグメントの再編についてはP.1 「グループ概要」をご参照ください。

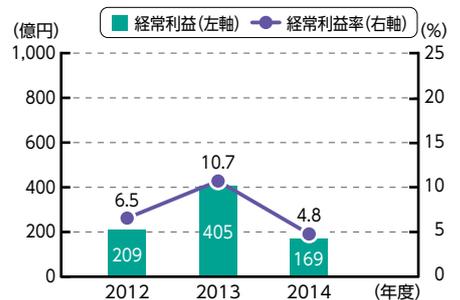
[記述している組織名の定義]
セガサミーホールディングス=セガサミーホールディングス (株)
遊技機事業、サミー=サミー (株)
エンタテインメントコンテンツ事業、セガ= (株) セガホールディングス、(株) セガ・インタラクティブ、(株) セガゲームス
リゾート事業= (株) セガ・ライブクリエイション、フェニックスリゾート(株)、セガサミーゴルフエンタテインメント (株)

・一部、その他のグループ会社も対象組織に含まれる活動があります。
・表など旧会社名を記載している場合は、その旨を注記しています。

パフォーマンスの推移(連結)

● 売上高

● 営業利益／営業利益率

● 経常利益／経常利益率

● 当期純利益

● 総資産／純資産

● 従業員数

世界中の人びとに夢と感動を届ける
セガサミーグループの製品・サービス

01 遊技機事業

遊技機事業は、パチンコ遊技機事業とパチスロ遊技機事業で構成されています。サミーを中心にマルチブランドを展開し、幅広いファンのニーズに応える製品を供給しています。パチンコ遊技機ではさらなる開発力の強化により、市場におけるプレゼンスの向上を目指し、パチスロ遊技機では市場の活性化に寄与する斬新な遊技性を備えた機械の開発・供給に取り組んでいます。

パチスロ蒼天の拳 2
©原哲夫・武論尊 /NSP 2001, 版権許諾証 YKU-127 ©Sammy

ぱちんこCR北斗の拳 6 拳王
©武論尊・原哲夫 /NSP 1983, ©NSP 2007 版権許諾証 YDA-108 ©Sammy

CR ブラックラグーン2
©2006,2010 広江礼威・小学館／ BLACK LAGOON 製作委員会
©TAIYO ELEC

サラリーマン金太郎 出世回胴編
©本宮ひろ志 / 集英社 / FIELDS　©Sammy
©RODEO

02 エンタテインメントコンテンツ事業

アーケード・コンシューマそれぞれの分野で革新的な製品を世に送り出してきたセガの卓越した開発力をデジタルゲーム分野に投入し、デジタルゲーム分野で「グローバルマーケット・トップ3」を目指します。また、ゲームデータをデバイス間で共有する「クロスプラットフォーム」戦略や、家庭用ゲームで培ってきたIP※のデジタル分野への転用を推進し、コンシューマビジネス全体での収益機会の最大化を図ります。高いシェアを誇るアミューズメント機器・施設においても、マーケットニーズに合致した商品ラインナップ、店舗ポートフォリオの強化を推進していきます。

※ Intellectual Property、キャラクターなどの知的財産。

ビュッフェダイニング KidsBee

DARTSLIVE2
©DARTSLIVE Co., Ltd.

名探偵コナン
業火（ごうか）の向日葵（ひまわり）
©2015 青山剛昌／
名探偵コナン製作委員会

それいけ!アンパンマン
ミージャと魔法のランプ
©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV ©やなせたかし／アンパンマン製作委員会2015

モバ7　アラジンA
©Sammy

ぷよぷよ!!クエスト
©SEGA

龍が如く0　誓いの場所
©SEGA

777TOWN.net
パチスロアラジンAⅡ
©Sammy

池袋GiGO

Bee川崎

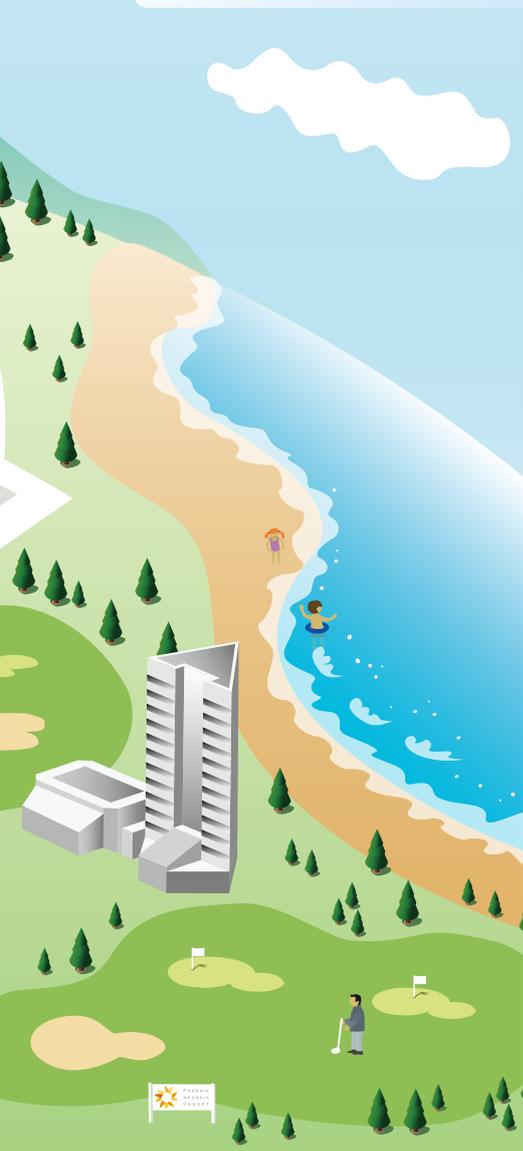
SICBO BONUS JACKPOT
©SEGA SAMMY CREATION Inc.

オアシスパーク

Wonderland Wars
©SEGA

UFO CATCHER9
©SEGA

ピピッ!とおかいもの!
アンパンマンレジスター
©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

ジュエルウォッチ
©'08,'15 SANRIO／SEGA TOYS
サンリオ・セガトイズ／テレビ東京・ジュエルペット制作委員会

03 リゾート事業

宮崎県にある日本有数の複合リゾート施設であるフェニックス・シーガイア・リゾートのグループ化をはじめ、2017年の開業を予定する韓国初の統合型リゾート（IR）施設「パラダイスシティ」のプロジェクトを通じて、ホテル、エンタテインメント施設、商業施設、カジノオペレーション等の開発、運営におけるあらゆるノウハウを蓄積しています。また、『ジョイポリス』、『オービィ』といったテーマパークなど、グループが保有する最先端技術や豊富な経験を活用し、セガサミーグループらしいエンタテインメント性溢れるリゾートの開発・運営に取り組んでいます。

ザ・ノースカントリーゴルフクラブ

東京ジョイポリス

フェニックス・シーガイア・リゾート

オービィ横浜

TOP MESSAGE ▸▸▸ SEGA SAMMY HOLDINGS

世界に誇れる「エンタテインメント」、夢と喜びを。強い決意で構造改革を推し進め新しい価値と感動を社会に提供し続けていきます。

セガサミーホールディングス株式会社　代表取締役会長兼社長
里見 治

新しいセガサミーグループによる社会的価値の創造

「世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。」という経営理念のもと、総合エンタテインメント企業のリーディングカンパニーとして、エンタテインメントの力で皆さまに感動と喜びをお届けすることが、セガサミーグループの社会的価値の創造であり、存在意義だと考えます。

21世紀に入り、高度な情報化社会が進展し、世界がより身近になるとともに、人びとのライフスタイルも多種多様となっています。そのような中で遊技やゲーム業界はテクノロジーの飛躍的な発展や社会構造の変化による「遊び」の多様化の影響を強く受けています。セガサミーグループが世の中で必要とされる価値を提供し続けていくには、社会の変化に対応できるスピード、多様性、柔軟性を持ち、常に「革新者」であり続けなければなりません。

今日までセガサミーグループは、エンタテインメント業界で長らくビジネスを展開し、人財、技術、IPなど事業の基盤となる財産を培ってきました。今後も現状に満足することなく、常に新しいものを生み出せるよう、絶え間ない改革を進めてまいります。2014年にはセガグループの事業構造の刷新を図り、2015年4月より「新生セガ」が始動しました。中間持株会社であるセガホールディングスのもとに、家庭用ゲームソフト、デジタルゲーム、アミューズメント機器、アミューズメント施設、玩具、映像等、事業ごとの分社化を行い、意思決定の迅速化とともに、事業ポートフォリオの運営強化を図ってまいります。また、事業間での連携を促進することで技術力プラス“サムシング”を模索し、グループシナジーを無限大に引き出していきます。セガサミーグループでは、従来からの事業のさらなる強化を図るとともに、デジタルゲーム分野の強化や、統合型リゾート施設を含むリゾート事業の育成に向けて経営資源を集中させることで中長期的な成長を目指していきます。

経営資源の中でも一番重要なのは社員であり、グループの力の源泉です。失敗をおそれず絶えずチャレンジし続ける、多彩な個性をもった社員たちが、その能力を最大限発揮できる社風を構築することが、革新的なエンタテインメントを生み出す創造性にもつながります。引き続き社内体制・制度の整備を重視し、コーポレート・ガバナンスの徹底など、企業経営の健全性を確保しながら、自由闊達で創造性の高い企業文化の形成を図っていきます。

セガサミーグループと社会の持続的発展を目指して

企業は常に社会とともにあります。ステークホルダーの皆さまとの関係性の中で事業を捉え、共通の価値観のもと行動することがセガサミーグループのCSR推進につながると考えています。当グループでは、東日本大震災の被災地にエンタテインメントを通じて笑顔と元気をお届けする支援活動を継続的に実施するなど、今後も様々な社会貢献活動を推進してまいります。

エンタテインメントとは、夢であり、喜びであり、また文化でもあります。このエンタテインメントという名の文化がもたらす感動を世界中の人びとにお届けしたい。その願いを胸に刻みつつ、グループ社員全体がベクトルを一つに、世の中の期待を超えるエンタテインメントの創造を目指します。同時に、社会とのかかわりがますますグローバルに広がっていくことの責任をしっかりと自覚し、セガサミーグループらしいCSRを実践することによって、持続可能な社会の実現と自らの成長へ、誇りをもって挑んでいきます。

TOP MESSAGE ▶▶▶ SEGA HOLDINGS

セガグループとして一丸となって、感動体験を創造し続けます。

株式会社セガホールディングス　代表取締役社長COO
岡村 秀樹

セガグループにとっての最大のCSRは、時代を先取りする文化的創造を続けることで、エンタテインメントがもたらす感動や喜びが豊かな社会の構成要素の一つとなるようにすることだと考えています。そのためには、良質なコンテンツやサービスを提供するだけではなく、その先にある「世界中のお客さまに感動を体験していただくこと」を意識的に目指すことが重要です。

2015年4月より、セガサミーグループとして進めてまいりました事業構造改革によって、国内外約60社の企業が一つのセガグループとなりました。それぞれマーケットもビジネスモデルも異なりますが、「感動体験を創造し続ける」というミッション、そして「創造は生命（いのち）」という価値観を共有することにより、各社が社会の変化に迅速に対応できる独立性を持ちながらも、会社ごとの壁を作らず、グループが一体となってこのミッションに取り組む体制を築きました。

新たな体制によって、セガグループのもつ「Game Changer（革新者）」としての斬新な発想と高い技術力を最大限に引き出し、時代と業界をリードするエンタテインメントを社会に提供し続けることを目指します。最高の感動体験を世界中の皆さまへお届けするため、「新生セガグループ」は力強く邁進していまいります。

TOP MESSAGE ▶▶▶ Sammy CORPORATION

積極進取の精神で、「新たな価値」を生み出すことへの挑戦を続けます。

サミー株式会社　代表取締役社長COO　**青木 茂**

パチンコ・パチスロなどの遊技機事業を通じて、セガサミーグループの社会的価値創造の柱、そして収益の柱を担うサミーの力の源泉は、社是として創業以来掲げる「積極進取」の精神です。新しいアイディアを具現化することに積極的に取り組む姿勢を表したもので、社員の先見性や独自性から生まれる自由な発想と旺盛な好奇心を引き出すきっかけとなっています。

現在、パチンコ・パチスロ業界は、ユーザー層の変化や射幸性を煽る遊技機に対する規制強化等の逆風の中にありますが、今まで以上に知恵を絞り、工夫を重ね、この難しい局面を打開し業界トップシェアを目指して邁進してまいりたいと思います。

事業を通じて継続的に活動を行うCSRの取り組みの一つに「ショールーム開放活動」があります。本社がある豊島区内の高齢者養護施設の方々をご招待するこの活動は、開始から9年をかけ、2015年6月に200回目を迎えました。サミーが取り組む色々なCSR活動の局面においても、社員の自主的な工夫や改善が見うけられますが、これは、社員一人ひとりが、様々なステークホルダーとの良好な関係について考え、社会からの要請、社会に提供できる価値などを常日頃から模索し、「フォア・ザ・カンパニー」の精神で行動していることの表れであると捉えています。

「新しいものはいつもサミーから」は、サミーの開発ビジョンですが、開発部門のみならず、サミーグループ一丸となって、「新たな価値」を生み出すことに引き続き挑戦し、持続的な成長を目指してまいります。

特集 1

新しい「楽しさ」を女性がつくる

「男性ばかり」というイメージが強いアミューズメント機器の企画・開発現場。
幅広い層のお客さまに楽しんでいただける製品とサービスをお届けするため、ものづくりへの熱意溢れる女性たちがその活躍の場を広げています。

新感覚音楽ゲーム『CHUNITHM』（チュウニズム）

自由に分割が変えられる高感度タッチパネルと、宙を切る手の動作を感知する空間センサーという2つのデバイスを採用。幅広い難易度調整が可能で、初級者から上級者まで、曲と一体となってリズムを刻む爽快感をお楽しみいただけます。
2015年7月稼働開始

http://chunithm.sega.jp/
©SEGA

開発の原点は、それぞれが自分の「好き」を追求すること。女性という個性も新しいアイディアにつなげていきたいです。

株式会社　セガ・インタラクティブ
第一研究開発本部　**森山 彩乃**

新作音楽ゲーム『CHUNITHM』の開発チームの一員として、イベントやプロモーションを行いその結果を開発にフィードバックするハブのような役割を担当しています。ゲーム開発の原点は、「好き」の追及です。メンバーそれぞれが自分の好きなことや個性を深く追求し、突き詰めることから斬新なアイディアが生まれると思います。「女性であること」も、個性の一つであり強みです。同じチームでの前作『maimai』は、直感的な操作性とお洒落でかわいらしいデザインで、女性や音楽ゲームに馴染みがない方にも楽しんでいただけています。『CHUNITHM』ではその経験と女性である強みを活かし、お客さまやチームの仲間の「好き」「嬉しい」という気持ちに寄り添って、さらに幅広いお客さまに遊んでいただけることを目指しています。

ゲームの開発は大変なことも多いですが、「好き」という思いや個性を形にすることはとても楽しいです。自分自身も楽しみながら、お客さまにも喜んでいただけるゲームづくりを目指しています。

女性社員の意見を活かして、ゲームセンターに新しい風を吹き込みたいです。

株式会社　セガ・インタラクティブ
Nプロ研究開発部　**笹田 敦子**

『ネイルプリ』は「もっと女性のお客さまにもゲームセンターに来て欲しい」という思いから始まったプロジェクトです。私はもともと筐体デザインを担当していましたが、女性の視点が必要ということで、ネイルデザインを中心とした全体のデザイン監修を任されました。ネイルデザインの企画にあたっては部署や職種に関係なく、女性社員や社員の奥さん、娘さんの協力のもと、多くの女性にアンケートを取りました。集まった幅広い意見をもとに試行錯誤し、様々なお客さまに喜んでいただけるラインナップを揃えています。ロケーションテストでは久しぶりにゲームセンターに来たという女性や、お揃いのネイルをするお母さまと娘さんなど、たくさんのお客さまの笑顔を見ることができました。今後も、幅広いお客さまに楽しんでいただけるような企画に積極的に取り組んでいきたいと思います。

自分だけのネイルシールが作れるプリント機『ネイルプリ』

プリント機やスマートフォンアプリ上でデザインを作成し、ネイルシールとしてプリントできます。豊富なネイルデザインから多数のパターンが組み合わせられるほか、スマートフォン上の写真を使ったデザインも可能。
2015年11月稼働予定

http://nailpuri.sega.jp
©SEGA

ネイルデザインの構想に使用したアイディアノート

特集２

「ありがとう」の積み上げが私たちのCSRの形です

遊技機事業を通して、あらゆる人たちの毎日に笑いや喜びをお届けしたい。
シニア層の方々にも気軽にパチンコ・パチスロを楽しんでいただけるような環境を提供しています。

社会貢献を通し、今までとは違った形でお客さまとの良い関係が構築できてとても嬉しく思っています。

サミー株式会社　営業本部
秋元 太一(右)　**田代 壮永**(左)

特別養護老人施設であるフォーリーブス甲府さまへ遊技機を寄贈してほしいというご要請を、地域事業主の会合の際、ご関係者さまからいただきました。ぜひ施設の方々の日常に楽しみをご提供したいという思いから協力させていただく決断をしました。寄贈にあたり、本社を含め沢山の社員の協力のもと、静かな施設環境に合わせて音量を低くし、誤飲などを防ぐためにコインレスタイプに改造するなど工夫を施し、今回の寄贈が実現しました。毎日スロットを楽しんでくださる方がいて、またオーナーさまから「ありがとう」の言葉をいただけたことがなにより嬉しいです。私たち営業職は常に社会との接点に位置し、社会のニーズや変化を体感できる立場にいます。社会やお客さまの要請を的確に拾い、「営業マン」として成長しつつ、今後も事業を通して社会へ貢献していきたいと思います。

パチンコ・パチスロが施設利用者の方々の日常の楽しみの一つになっています。

社会福祉法人四葉会
フォーリーブス甲府　総務課長　**功刀 政司**氏(右)

養護施設を運営するにあたり、常々利用者の方々の遊び心を大切にしたいと思っていました。ニュースなどでパチンコ・パチスロが養護施設等で喜ばれていると聞き、施設利用者の方々の日常動作の訓練にもなるので実現してみたいと思っていました。要介護レベルの高い方もいらっしゃるので、あまり難しい機械や、長時間かかる遊びは向きませんが、七十代の利用者の中には、ほぼ毎日楽しんでいらっしゃる方もおいでです。日常の中の一つの刺激になっているようです。導入当初はもちろんのこと、ご家族が施設を訪問される際にも、話題の種になっています。サミー社員の方々が今回一所懸命に協力してくださり、本当に嬉しかったです。ありがとうございました！

TOPICS

ショールーム開放

サミーでは、2006年6月より東京都豊島区の社会福祉協議会と連携し、高齢者養護施設の方々を対象に、本社のショールームを継続的に開放し、パチンコ・パチスロを楽しんでいただいています。2015年6月に200回記念を迎え、ボランティアで参加する社員も、「世代間交流」を通して地域の方々の喜ぶ姿にふれ、「社会貢献」の意識が根付いてきています。

特集 3

セガサミーグループの 東日本大震災復興支援活動

セガサミーグループでは、2011年3月11日の東日本大震災発生直後から、様々な支援活動を展開していきました。被災地支援では緊急期～復旧期～復興期と、そのステージにより必要とされることも大きく変化する中で、今後も真の復興に向け、社員とともに“笑顔、元気を届ける”活動を継続していきます。

緊急期

2011年3月
東日本大震災発生直後から、義援金や物品寄贈、商品の売り上げの一部寄付などを実施

復旧期

2011年6月
社員ボランティア活動をスタート（2015年7月まで計41回実施、のべ455名参加）

2011年9月
NPO等と連携し被災地支援活動を実施

2011年6月
都内・近郊に避難されてきた方々等を東京ジョイポリスへご招待（2013年3月まで計24回実施、のべ642名ご招待）

2011年12月
被災地応援イベントをスタート（2015年8月まで計21回実施）

復興期

2013年
新入社員被災地研修をスタート（2015年度は87名が参加）

2015年以降継続

2015年以降継続

2015年以降継続

社員ボランティア活動【参加社員の声】

（株）セガトイズ　ライセンス事業部
三木 真穂（第35回 2014年7月参加）

現地でのお話は人生観が変わるような経験で、『本当の復興支援は風化させないこと』という言葉を深く心に刻みました。グループで一致団結できるグループシナジーを体感しました。

（株）トムス・エンタテインメント　制作管理部
鈴木 勇一（第37回 2014年10月参加）

活動中につくった看板や花壇造作が「憩いの場」になっていると聞き、嬉しいです。首都圏にも同規模の震災発生予測がある中、決して他人事ではないと考えさせられました。

フェニックスリゾート（株）ラグゼ 一ツ葉
下屋 香代（第38回 2014年11月参加）

現地の方と直接ふれ合い、仲間たちと気持ちが一つになる達成感を感じられた充実した時間でした。また、自分の目と耳で確かめる自身の環境がいかに恵まれているかを再確認できました。

（株）インデックス　技術開発局　技術開発部
片岡 恵理子（第39回 2015年5月参加）

今回見たこと・聞いたこと、被災地の今を、周りに伝えていくことも復興の一つ。グループの一員であることを再認識する機会としても、参加して良かったです。体力と一芸を身につけ、また参加します。

社外の声

復興支援団体プラスネオ　代表　**中村 健司氏**

震災から5年目、セガサミーグループさまは、今でも被災地に入って現地の声を聞き、復興フェーズに合わせた支援活動を継続していらっしゃいます。その姿に、住民も常駐して活動を続ける私たちも、元気づけられます。被災した方々の心の傷が癒えるよう、今後もご協力いただければ幸いです。

新入社員被災地研修【2015年4月参加社員の声】

サミー（株）　**瀬尾 英明**

『自分の命は自分で守れ』という言葉がとても印象的でした。震災後の新しい生活を受け入れ、力強く生きている被災地の多くの方々に笑顔になってもらうため、様々な種類のエンタテインメントを提供していきたいです。

（株）トムス・エンタテインメント　**上平 夏実**

映像で見るしかなかった場所に行けて、本当に良かったです。4年「も」ではなく4年「しか」経っていないと気づかされました。被災地の方々が安心できるように、これからも足を運ぶことは重要だと感じました。

（株）サミーネットワークス　**鈴木 俊司**

花壇造作途中、偶然地元の人が来られていて、実際に笑顔を拝見することができました。被災された方にエンタテインメントを通して感動体験していただくこともセガサミーグループの社会的責任だと強く肌で感じました。

（株）セガ・インタラクティブ　**此木 啓人**

現地の方の話、被災地の視察そして漁業支援活動と、非常に貴重な経験でした。今後は「物資」より「ふれあい・心のケア」が大切。心の傷を軽減する、エンタテインメント企業としての支援が求められていると感じました。

（株）セガゲームス セガネットワークス カンパニー
松下 佳代子

大川小学校等の津波被害の爪痕を見て、とても辛い気持ちになった一方、地元の人が見てホッとできる「花壇作り」に参加できて感謝しています。多くのことを学び、仲間との団結力が高まった、貴重な経験でした。

被災地応援イベント【参加社員の声】

- 被災地のみなさんの笑顔や元気に触れ、逆に元気をいただいてきました。このイベントに限らず、復興支援のためにできることをしていこうという気持ちを、もっと多くの方に広げていけるよう日々行動していきます。
- 夢中でメダルを入れてボタンを連打し、楽しそうに笑っている子どもたちを見ながら、このイベントが大変有意義であると感じました。彼らが、震災当時のつらい記憶や経験をひと時でも忘れられたのであれば、嬉しく思います。
- 子どもたちと、意外(?)にもダーツに興味をもってくださったお年寄りに囲まれた楽しい時間でした。「自分が楽しむことで、人にも楽しみを分けられる」そんな基本的なことを実感した一日でした。貴重な経験になりました。

▼御来場者からいただいたコメント

社外の声

福島県　相馬郡　飯舘村　村長
菅野 典雄氏

東日本大震災に伴う原発事故により、飯舘村は全村避難5年目を迎えています。
村では、慣れない避難生活を送る村民を元気づけるために年に1度、ばらばらの村民が一堂に集う「村民ふれあい集会」を開催し、セガサミーさまにもご協賛いただいています。色々な遊技機と社員皆さまの笑顔や優しさで、村民を元気づけてくださっていることに感謝申し上げ、引き続き本村の復興を見守っていただければと思います。

特集 4

子どもたちの笑顔と健やかな成長のために

セガサミーカップ presents ジュニアスポーツフェスティバル

子どもたちにスポーツの楽しさを伝える「ジュニアスポーツフェスティバル」。「長嶋茂雄 INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」におけるスポーツ振興の一環として、2006年にセガサミー野球部が開催した野球教室から、その活動はスタートしました。地域の様々なご協力により年々種目数を増やし、子どもをはじめ、地元の方々とのスポーツを通した交流の場として、笑顔をお届けする機会となっています。

8度目の開催となった2015年度は、2月から10月にかけて、開催地千歳市および近隣の恵庭市、苫小牧市ご協力のもと開催しました。各競技で輝かしい実績を誇る選手・元アスリートが講師として、基本から実践・メンタルまで幅広い指導を行い、子どもたちに競技の楽しさを伝えました。開催した教室は計14競技17種目※、参加者は1,500名を超えました。

※ 17種目の内訳：軟式野球、硬式野球、サッカー、ランニング、かけっこ、バスケットボール、スナッグゴルフ、バレーボール、水泳、テニス、ソフトテニス、柔道、剣道、卓球、バドミントン、スキー、スケート

主な活動

元日本代表の吉原宏太氏（現・コンサドーレ札幌ジュニアサッカースクールコーチ）がサッカーの講師として指導にあたりました。

元全日本の佐々木太一氏（現・サントリースピリッツ株式会社）がバレーボールの楽しさを子どもたちに伝えました。

カリスマトレーナー廣戸聡一氏が、人の身体特性を4種類に分類する「4スタンス理論」を取り入れたスケート教室を実施しました。

講師として参加

スポーツを通して子どもたちが夢と探求心を持ち続けることに貢献していきます。

セガサミー野球部（主将）
株式会社セガホールディングス
IT本部　業務システム部
江藤 圭樹

子どもたちに「興味を持ってもらう」ことを念頭に、日頃少年野球ではやらない練習を取り入れるなどメニューを工夫しています。たとえば「ケンケンパ」してからの捕球です。子どもたちの『どうして?』という疑問を引き出し、動作の理由を説明することで、理解が深まり、捕球技術の体得にもつながります。野球はとても奥が深いですから、常に"気づき"が大切。「気づき」があれば興味を持ち自発的に学んでいきますし、そうした姿勢こそが上達のカギです。子どもたちには野球が好きという気持ちを忘れず、夢と探究心を持って野球に取り組んで欲しいと願っています。

誘致者として参加

千歳市では累計6,200名の子どもたちがジュニアスポーツフェスティバルに参加。これからも千歳市からスポーツの持つ力を発信していきます。

千歳市観光スポーツ部
スポーツ振興課　課長
廣瀬 誠氏

毎年、スポーツの素晴らしさと子どもが成長する上で大切なことを教わる機会をいただき、開催に心から感謝しています。今年は新たな試みとして、子どもと指導者を対象に廣戸聡一氏による「4スタンス理論」を取り入れたスケート教室を実施し、参加した指導者からも『ためになった』という声が多数寄せられました。今後ジュニアスポーツフェスティバルで培った経験も活かし「スポーツの持つ力」を千歳市から発信することで、スポーツ振興に邁進していきたいと思います。

親子で参加

千歳少年軟式野球チームの子どもたちにとって、野球を学び、笑顔溢れる充実した時間です。

宮松 空翔くん（小学4年生）

野球を始めて2年目です。基礎力を上げたいと思って参加し、バッティングの構えや、守備の姿勢など沢山教えていただきました。来年は高学年になるので、攻守の両面でチームに貢献し、チームを盛り上げる選手になりたいです。ご指導ありがとうございました。

千歳みどり台シャークス監督　**宮松 貴之**氏

「千歳みどり台シャークス」は、2015年1月に立ち上がった新しいチームです。選手の確保やチーム力の底上げなど課題はありますが、子どもたちにはまず野球を目一杯楽しんで欲しいというのが私のモットーです。そうした中、初めて野球教室に参加させていただき、子どもたちのいきいきとした笑顔が印象的でした。今後は、セガサミー野球教室の練習方式も参考にして、選手の個性を伸ばしていきたいと思います。

特集5

SEGA SAMMY GROUP CSR Workshop「未来を語ろう」

「世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、豊かな社会の現実と文化の創造に貢献する」という経営理念をもとに、セガサミーグループは事業を展開しています。社会の変化のスピードがますます加速する中、社会とともに持続的に成長していくには、どのような価値を創造・提供し、社会へ貢献していくべきなのでしょうか。当グループの将来を担う若手・中堅社員による初めてのグループ横断の社員ワークショップを開催し、将来あるべき姿、その実現のため今始めなければならない取り組みについて意見交換をしました。

概　要

日　時：2015年4月21日
テーマ：未来を語ろう
参加者：社員12名

意見交換のテーマ

テーマ❶ 10年後(2025年)のセガサミーグループのありたい姿

テーマ❷ 10年後のありたい姿を実現するために、今担うべき責任（グループごとに下記を設定）

	分野	テーマ❷（グループ別テーマ）	参加者
GROUP 1	事業・製品・企画・開発	エンタテインメント企業だからできること	株式会社セガ・インタラクティブ　第一研究開発本部　宇佐見 望 サミー株式会社　研究開発本部　画像研究開発部　関山 道生 株式会社セガゲームス セガネットワークス カンパニー　社長室 ゲームスタイル研究所　鈴木 剣士郎 株式会社トムス・エンタテインメント　国内事業本部　国内ライセンス部　林 郁美
GROUP 2	顧客対応	お客さまとのコミュニケーション	株式会社セガゲームス　コンシューマ・オンラインカンパニー　国内アジア事業部 コンシューマ・オンラインマーケティング部　花立 幸一 サミー株式会社　営業本部　カスタマーサービス部　間山 敬祐 株式会社ダーツライブ　国内事業本部　藤井 大貴 株式会社セガ エンタテインメント　KidsBee港北みなも　工藤 暦
GROUP 3	人財育成・社員の成長	組織への貢献と自らの成長	株式会社セガホールディングス　コーポレート本部　知的財産権部　西木 淳郎 サミー株式会社　コーポレート本部　人事部　田島 大慈郎 株式会社サミーネットワークス　事業推進本部　ゲーム企画推進部　張 萌 日本マルチメディアサービス株式会社　営業本部　秋葉原オペレーションセンター　平野 睦

テーマ❶、❷について各グループから出された主な意見

GROUP 1 事業・製品・企画・開発

左から林、鈴木、関山、宇佐見

- 高齢の方や女性も安心して利用でき、日本ならではの付加価値を提供できれば良いと思います。（林）
- シナジーの力で、将来もお客さまに喜んでいただけるサービス提供を目指します。（鈴木）
- セガサミーグループがカジノ業界の新ルールづくりをけん引していきたいと考えます。（関山）
- 今後セガサミーグループの中で発展するカジノ事業においては、地域の方々や企業との連携が不可欠だと思います。（宇佐見）

GROUP 2 顧客対応

左から花立、工藤、藤井、間山
- お客さまとの信頼関係の大切さは将来も不変だと思います。（花立）
- シルバー世代の到来。お客さまのニーズを共有できる社員がいきいき働ける職場づくりを心がけたいです。（工藤）
- 10年先の「楽しさ」を実現するには、まず自分自身が現在の業務を楽しいと思えるかを問い続けるべきだと思います。（藤井）
- グループ内のシナジー効果で新しいサービスや製品を生み出していきたい。ゲーム･アミューズメント･遊技業界の将来は明るいと思います。（間山）

GROUP 3 人財育成・社員の成長

左から田島、張、平野、西木

- どんな変化にも対応できる人財を育成するために、キャリア開発施策などの一層の促進を図りたいです。（田島）
- 現地研修や語学の習得制度の充実を期待しています。（張）
- グループ各企業が培ってきた「強み」が活かせる仕組みを構築することが大切だと思います。（平野）
- 「創造は生命」の精神で、IP※の相互利用の活性化や技術交流会を促進したいと思います。（西木）

※ Intellectual Property、キャラクターなどの知的財産。

ワークショップ後、様々な視点に基づく意見を聞くことができて良い刺激を受けたという感想が多数寄せられました。従来に無いつながりや発想を得ることにより、今ある人財、ビジネス、サービスをいかに活かして変化させ、新しいものを創るかを考える機会となりました。多くの参加者が、グループ内でコミュニケーションのさらなる活性化を図りシナジーを高めることが、今後も社会に価値を提供し続けていける鍵だと認識しました。

マネジメント

セガサミーグループの経営理念体系

セガサミーグループは、オリジナリティ溢れるエンタテインメントを通じて夢と感動をご提供するという考えのもと、国際社会の一員であることを強く意識し、様々なステークホルダーとコミュニケーションを図りながら、「良き企業市民」として社会からの倫理的・公共的な期待に応え、社会の持続可能な発展に寄与する価値を提供していくことに取り組んでいます。また、事業活動に留まらず、芸術・スポーツなどの文化の発展支援など、グループ全体で様々な社会活動を継続的に実施していくことにより、社会との信頼関係を築き、「豊かな社会の実現」と「文化の創造」を目指します。

グループ経営理念

**私たちは、世界中のあらゆる人々に夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し、
豊かな社会の実現と文化の創造に貢献します。**

グループCSR憲章

URL http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/

**社会に生き続ける「企業市民」として、CSRの精神に鑑み、
すべての法令・社会規範を遵守し、ステークホルダーとのより良い関係を築くことで、
健全な経営の実現と社会的な責任を果たせるものと考えます。**

グループ行動規範

URL http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_csr.html

「グループCSR憲章」に基づく、社員の具体的な行動指針

「グループCSR憲章」に基づく、社員の具体的な行動指針を、前文「基本事項」のほかステークホルダーごとに「安心・安全・高品質」、「公正な関係」、「透明性の高い経営」、「職場環境の整備」、「社会への貢献」、「地球環境」など基本的な行動規範を定めたものです。

グループ・マネジメントポリシー

URL http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy.html

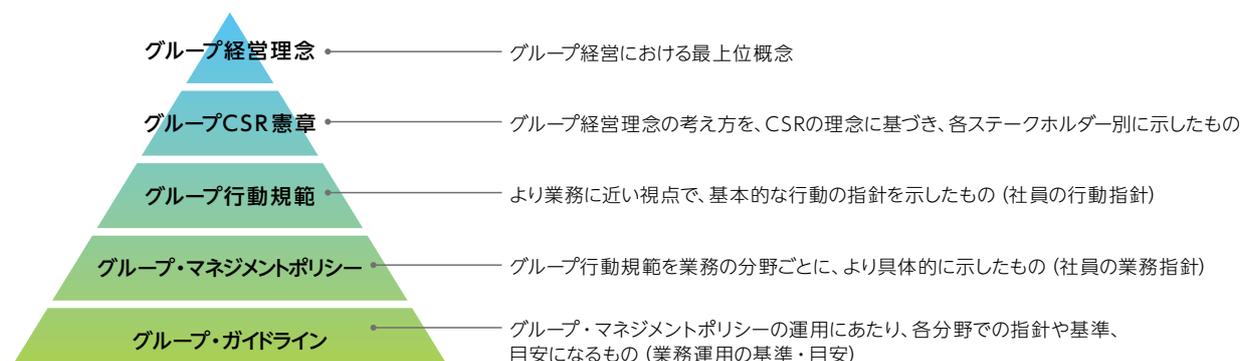
- 人財に関する方針
- 労働安全衛生に関する方針
- リスクマネジメントに関する方針
- 情報管理に関する方針
- ITセキュリティに関する方針
- 個人情報保護に関する方針
- IR・広報に関する方針
- 環境に関する方針
- 海外贈収賄禁止に関する方針

2015年3月に、中国語版および韓国語版を社内イントラネットに掲載しました。
海外子会社並びに協力会社との連携を強化することで、当社グループのCSR活動をグローバルに深化させていきます。

グループ・ガイドライン

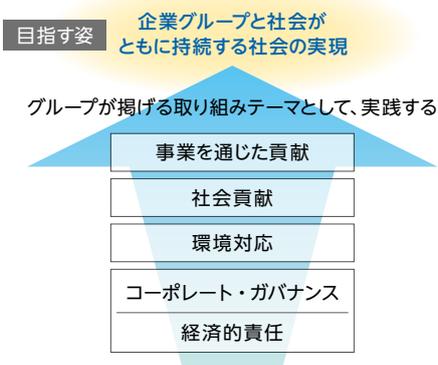
- 危機管理ガイドライン
- SNS利用ガイドライン
- ITセキュリティガイドライン
- 海外贈収賄禁止に関するガイドライン
- クラウドサービス利用ガイドライン

階層	説明
グループ経営理念	グループ経営における最上位概念
グループCSR憲章	グループ経営理念の考え方を、CSRの理念に基づき、各ステークホルダー別に示したもの
グループ行動規範	より業務に近い視点で、基本的な行動の指針を示したもの（社員の行動指針）
グループ・マネジメントポリシー	グループ行動規範を業務の分野ごとに、より具体的に示したもの（社員の業務指針）
グループ・ガイドライン	グループ・マネジメントポリシーの運用にあたり、各分野での指針や基準、目安になるもの（業務運用の基準・目安）

URL http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr

セガサミーグループのCSR

セガサミーグループは、CSR活動を当社グループの持続的価値創造と社会の持続的発展の双方を実現するための重要な活動と捉えています。

グループ CSR取り組みテーマ

2012年に、グループで取り組むCSRの取り組みテーマとして、「事業を通じた貢献」、「社会貢献」、「環境対応」、「コーポレート・ガバナンス／経済的責任」の4つを設定しました。この4テーマについて、事業会社ごとに進捗管理を行っています。

ステークホルダーとのかかわり

セガサミーグループの事業活動は、５つのステークホルダー（「お客さま」、「お取引先」、「株主・投資家」、「社員」、「社会（社会貢献と環境）」）とのかかわりの中で成り立っています。ステークホルダーとのコミュニケーションを通じて、信頼関係を深めながら、ご意見やニーズを事業活動に反映することに努めています。

ステークホルダー	主なコミュニケーション機会	主な責任
お客さま	営業活動 ／ サポート窓口 ／ 店舗・施設での接客	安心・安全かつ高品質な製品・サービスの提供
お取引先	調達活動 ／ 説明会 ／ サプライヤーミーティング ／ 相談窓口	公平・公正な取引 ／ 連携強化 ／ 取引先へのCSRの要請
株主・投資家	各種報告書の発行 ／ WEBサイト ／ IR活動	情報開示 ／ 経営の安定と成長 ／ 適正な利益還元
社員	社内イントラ ／ 相談窓口 ／ 満足度調査 ／ 労使協議会	職場環境整備 ／ 公正な評価と成長機会 ／ 人権と多様性の尊重
社会	WEBサイト ／ 地域との交流 ／ 社会貢献活動	本業の繁栄 ／ 環境経営 ／ 社会との連携 ／ 社会貢献活動

国連「グローバル・コンパクト」への参画

セガサミーグループは、2014年4月、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」（以下、GC）への支持を表明しました。GCとは「各企業が責任ある創造的なリーダーシップを発揮することによって、社会のよき一員として行動し、持続可能な成長を実現するための世界的な枠組みづくりに参加する自発的な取り組み」です。私たちはGCが掲げる10原則に基づき責任ある経営を推進することによって、持続可能な社会づくりに貢献していきます。また、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン内に組織されている、SRI/ESG、サプライチェーン、腐敗防止、レポーティング研究分科会等の活動に参加し、他社との情報共有を行いながら、課題解決に向けて積極的に取り組んでいます。

● 国連「グローバル・コンパクト」対照表

国連「グローバル・コンパクト」10原則		関連ページ	記載内容
人権	原則1：人権擁護の支持と尊重 原則2：人権侵害への非加担	P.13-16 P.28 P.33	グループ経営理念体系、CSR お取引先とともに：公平・公正な取引 社員とともに：人権の尊重
労働	原則3：組合結成と団体交渉権の実効化 原則4：強制労働の排除 原則5：児童労働の実効的な排除 原則6：雇用と職業の差別撤廃	P.13-16 P.28-29 P.33-36	グループ経営理念体系、CSR お取引先とともに：公平・公正な取引 社員とともに：人権の尊重、人財育成・評価、多様性推進、労使関係
環境	原則7：環境問題の予防的アプローチ 原則8：環境に対する責任のイニシアティブ 原則9：環境にやさしい技術の開発と普及	P.13-16 P.38-39	グループ経営理念体系、CSR 環境経営の推進、各段階における取り組み、その他の環境保全活動
腐敗防止	原則10：強要・贈賄等の腐敗防止の取り組み	P.13-16 P.18-19 P.27-29	グループ経営理念体系、CSR コンプライアンス お取引先とともに：公平・公正な取引

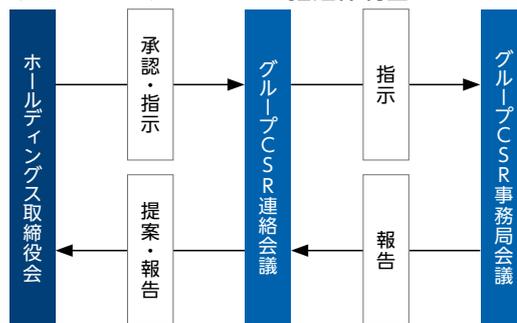
CSR推進体制

セガサミーホールディングスにグループCSR推進室を設け、グループのCSR活動を統括・管理しています。

グループでの活動推進のため、「グループCSR連絡会議」を設置しています。セガサミーホールディングスのCSR推進室長が議長を務め、セガとサミーのCSR管掌役員が参加し、CSRマネジメントの連携を図っています。さらに、ホールディングスのCSR推進室長を議長としグループ会社のCSR担当者が参加する「グループCSR事務局会議」を設けています。CSR活動に関する施策の検討・実施・評価（PDCAサイクル）等を行うため、原則として半期に１回開催しています。2014年度は、グループ横断のCSR活動である「東日本大震災復興支援ボランティア」や「絵本を届ける運動」、「社会から要請される非財務情報開示」、「セガサミーグループらしいCSRレポート」、「他社CSR活動事例」等について討議し、情報と知識の共有を図りました。

● セガサミーグループCSR推進体制図

ホールディングス取締役会 → 承認・指示 → グループCSR連絡会議 → 指示 → グループCSR事務局会議

グループCSR事務局会議 → 報告 → グループCSR連絡会議 → 提案・報告 → ホールディングス取締役会

CSR推進活動

意識の醸成

セガサミーグループでは、社員一人ひとりがCSR憲章を理解し、その精神に基づいたグループ行動規範に沿って行動してこそ、当社グループが掲げる「グループ経営理念」を実現できると考えています。セガサミーホールディングスのグループCSR推進室では、グループすべての社員を対象にCSR活動の重要性や取り組む意義を伝えながら、それぞれの理解度に合わせた各種研修をはじめとした浸透策を企画し、実行しています。

事業所に掲示しているCSRポスター

CSR研修

2013年10月から、グループ企業のマネジメント層向けCSR研修を実施しています（のべ10社、11回、354名受講）。外部講師による講義やグループワークを通じて、社会や事業環境の変化を考え、「社会と企業の共生」や「企業の持続的成長・発展」についての理解と参加者同士のコミュニケーションを深めました。終了時には、受講者全員が「My部署CSR推進宣言」を提出し、セガサミーグループの一員としての存在意義を再確認する機会を設けました。今後も「社会から期待され、信頼され、尊敬される企業、そして社員が誇れるグループ企業になるためにやるべきこと」を社員一人ひとりが意識して行動できるように、研修を継続していきます。

CSR研修のグループワーク

セガサミーホールディングス会長とグループ社員の意見交換会

各現場の活動成果や課題等を共有し、今後のCSR活動の方向性について議論することを目的に、ホールディングス会長とグループ社員の意見交換会を年に１回実施しています。グループ各社のCSR推進担当者や、各社が注力するプロジェクトや人事の責任者等が参加し、活発な意見交換が行われます。経営トップと、日常業務では接する機会が無い部門やグループ他社の社員同士が一つのテーブルを囲むことで、グループ間コミュニケーションの活性化に大いに役立っています。2015年度は計6社、6名が参加しました。

経営トップと社員が事業やCSRについて語り合う意見交換会

2014年度の目標と進捗・実績／2015年度目標

グループが掲げる4つの取り組みテーマ「事業を通じた貢献」、「社会貢献」、「環境対応」、「コーポレート・ガバナンス／経済的責任」に対し、毎年度の課題設定と活動の進捗・実績の管理を行っています。

● セガサミーグループ「4つの取り組みテーマ」の主な課題と活動実績

取り組みテーマ	2014年度の課題	進捗・実績	主な掲載ページ	2015年度の課題
事業を通じた貢献	製品やサービスの安心・安全の提供、並びに適正な情報開示の継続	・対象各国の法令、業界基準等に則し、それを上回る自主基準の設置、製品表示などによる情報開示を含む品質保証【セガ、サミー、セガトイズ、SE】 ・地域警察・商店街等と連携した見回り、青少年保護対策【SE】 ・未成年による飲酒防止の施策【SE】	P.21、P.22、P.25、P.26	安心・安全で楽しい製品・サービスの提供
	サポート体制のさらなる充実	お客さまサポート体制の充実【セガ、サミー、セガトイズ】		
	正確で適切な製品表示の推進	正確で適切な品質表示【セガ、サミー、セガトイズ、SE】		
	業界団体標準等に準拠した安全基準の遵守の継続	・業界団体に基準等に準拠した安全基準【セガ、サミー、セガトイズ、SE】 ・業界団体を通じた適度な遊技環境の推進【サミー】	P.25、P.26	
	不正防止対策の継続	不正防止【サミー】		
	対象拡大などの推進	・小児医療（歯科）の発展に貢献する支援端末『スマイルタッチデンタル』の開発と普及【TMS】	P.9、P.26、P.42、P.44	グループコンテンツを活かした社会課題解決への貢献
		・ショールームを定期的に高齢者へ開放（16回、107名）【サミー】		
		・NPOとの協働で玩具を寄贈【HD、セガトイズ】		
		・コンテンツを活かした被災地復興支援応援イベントを開催（5回）【HD、セガ、サミー、セガトイズ、TMS、SE、SLS、ダーツライブ】		
社会貢献	復興支援の継続と新たなステージへの対応	・グループ社員ボランティアを被災地へ派遣（6回、のべ55名）【グループ】	P.9	グループ全体での貢献活動（東日本大震災復興支援等）
		・グループ新入社員研修の一環として被災地へ派遣（11社、87名）【グループ】		
		・コンテンツを活かした被災地復興支援応援イベントを開催（5回）【HD、セガ、サミー、セガトイズ、TMS、SE、SLS、ダーツライブ】		
	グループシナジーを活かした社会貢献の実行	・「TOKYO JAZZ」など芸術活動への協賛【HD】	P.10、P.44、P.45	
		・「絵本を届ける運動」（150冊）（発展途上国のエンタテインメント環境整備）【グループ】		
		・「ジュニアスポーツフェスティバル」並びに水泳教室の開催【HD、セガサミーゴルフ、PSR】		
	事業の延長線上での社会貢献の実行	・野球部による野球教室の開催【HD】	P.10、P.43、P.44	地域社会への貢献活動、業界活動等
		・NPOとの協働で玩具を寄贈【セガトイズ】		
		・地元中高生の実習生受け入れ【オアシスパーク】		
		・ピンクリボン運動への寄付【セガサミーゴルフ】		
		・地域スポーツ活動への協賛【HD、サミー】		
		・地域祭りへの協賛・参加【セガ、サミー、SLS】		
環境対応	環境施策の推進	・グリーン電力証書の購入（100万kWh実績／年）【セガ】	P.40、P.41	地球資源等への配慮活動
		・横浜市風力発電事業「Y（ヨコハマ）-グリーンパートナー」への協賛（グリーン電力証書2014年実績：95,730kWh）【セガ】		
		・主要グループ会社10社の環境負荷数値把握体制の整備【HD】		
		・森林里親契約「セガの森」整備によるCO_2吸収量が長野県から評価【セガ】		
		・シーガイア敷地内の黒松（250万m^2）の管理・保護・育成【PSR】		
	環境配慮型製品開発・販売の推進	・低消費電力製品の開発・提供点数の増加【セガ】	P.39	3R推進、環境配慮型製品等の事業関連の環境対応
		・エコパチンコの開発、製品化への展開【サミー】		
	3R(特にリサイクル）の推進	・下取機リサイクル97.24％達成【サミー】	P.40、P.41	
		・廃棄物有価リサイクル（川越工場勤務者による分別活動）の実施【サミー】		
		・AM（アミューズメント）機器の手分解による100％リサイクルを実施【SLS】		
	その他環境保全活動の推進	・年次サプライヤーミーティングでの環境規制等の情報を配信【セガ】	P.29	
コーポレート・ガバナンス	経営者からの継続的なメッセージ発信によるグループ経営理念の浸透	・グループマネジメント層向けCSR研修の実施（3回、3社、85名）【HD】	P.13、P.14、P.15	経営者からの継続的なメッセージ配信によるグループ経営理念の浸透
		・「グループ・マネジメントポリシー」並びに「グループ・ガイドライン」制定【HD】		
		・グループ経営理念をグループイントラネットに掲示し、グループ社員が常時閲覧可能な体制を整備し、また、「CSR項目」としてグループ経営理念などを社員手帳冊子に掲載、常時携行可能とし、社員啓発を促進【グループ】		
		・経営トップから、社会情勢や事業発表とともに、現実に即した形で社員に分かりやすく経営理念の意味と実践についてメッセージを配信（年3回）【グループ】		
		・国連グローバル・コンパクトへの参画【グループ】		
	・コーポレート・ガバナンスの強化 ・CSR活動推進のための研修	・グループ役員コンプライアンス研修会（6回、18社、141名）【グループ】	P.18	コンプライアンス研修の実施
		・新任役員向けコンプライアンス研修（1回、38名）【セガほか】		
		・企業倫理ホットラインの設置による使いやすい通報制度の構築【グループ】		
		・個別テーマ研修（41回、1,409名）【セガ、サミーほか】		
		・階層別各種研修（マネジメント層向　3回、3社、85名、新入社員向　5回、6社、111名）【グループ】		
	CSR情報の共有化の推進	・社会の動静を察知し、リスク感度を高める目的でグループ会社のCSR担当者向け情報媒体（新聞・雑誌等）を通したCSR情報の収集とグループ各社への提供（毎月2回）【HD】	－	CSR情報共有化の推進

※ 活動を実施する主要会社（活動年度における旧会社名）を【】内に記載しています。なお、会社名表記について、以下の会社は略称で記載しています。HD：セガサミーホールディングス（株）、セガ：旧（株）セガ、TMS：（株）トムス・エンタテインメント、SLS：（株）セガ・ロジスティクスサービス、PSR：フェニックスリゾート（株）、SE：（株）セガ エンタテインメント、グループ：HD、セガ、サミー、セガサミーゴルフ：セガサミーゴルフエンタテインメント（株）

コーポレート・ガバナンス

基本的な考え方

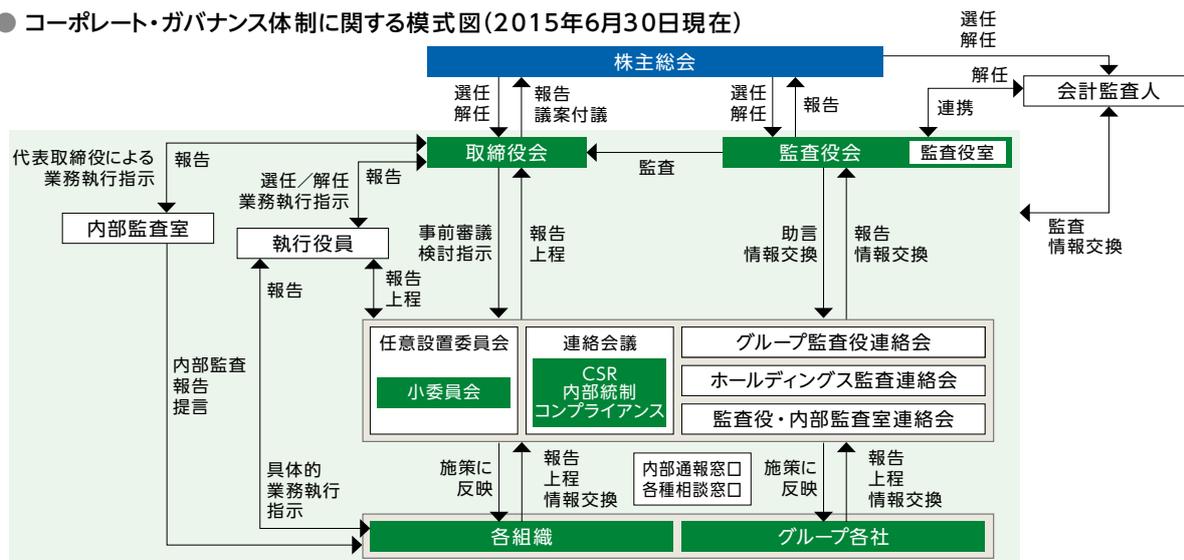
セガサミーグループは、コーポレート・ガバナンスを企業行動の最も重要な基盤として位置づけ、企業経営の「効率性の向上」、「健全性の確保」、「透明性の向上」を「コーポレート・ガバナンスに関する基本方針」として掲げ、経営の重要な問題をこの方針に従い判断しています。

コーポレート・ガバナンス体制

業界や製品・サービス等の知識や経験等に富んだ取締役が迅速かつ最適な経営判断を導き出すと考え、監査役設置会社形態を採用し、あわせて社外取締役の選任、執行役員制度と内部体制の強化を行い、運営と管理の両面からコーポレート・ガバナンス体制を充実させています。

取締役会は9名（うち2名は社外取締役かつ独立役員）で構成され、月例の定時取締役会並びに適宜開催する臨時取締役会において機動的経営を図っています。監査役会は、月例の定時監査役会並びに適宜開催する臨時監査役会において、4名（うち3名が社外監査役かつ独立役員）の監査役が議論を行っています。そのほか、グループ監査役連絡会、ホールディングス監査連絡会等が各種施策を実施しています。

URL コーポレート・ガバナンスに関する報告書
http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/corp/pdf/governance/governance.pdf

● コーポレート・ガバナンス体制に関する模式図（2015年6月30日現在）

役員の選任と報酬の方針

取締役および監査役は、取締役会が選定した候補者を株主総会の決議を持って選任しています。

取締役の報酬等については、株主総会で決議された限度額範囲内※1で、取締役会により委任された代表取締役が、他の取締役と協議の上決定、監査役の報酬等については、同範囲内※2で、監査役の協議によって決定しています。

● 役員の報酬等の総額（2014年度）

区分	対象人数	報酬等の額
取締役	9名	575百万円
監査役	2名	25百万円
計	11名	600百万円

※1 取締役の報酬限度額は、2012年6月開催の定時株主総会において1,000百万円と決議されています。
※2 監査役の報酬限度額は、2004年6月開催のサミー株式会社定時株主総会および株式会社セガ定時株主総会において50百万円と決議されています。

内部統制

「内部統制システムの整備に関する基本方針」に基づき、体制の充実を図っています。グループガバナンス体制の整備と強化のため、グループ内部統制連絡会議、グループCSR連絡会議およびグループ・コンプライアンス連絡会議の機関並びにそれらを支える専門部署を設置し、グループ経営にかかわる内部統制構築上の問題点、進捗等について審議・確認し、そ

の維持・向上に取り組んでいます。さらなる内部統制の強化のため、2014年度に、業務等の分野ごとの「グループ・マネジメントポリシー」の整備、「グループ行動規範」の社会の変化に合わせた改正を行いました。また、内部統制報告制度に基づき、内部統制システムの評価・報告の仕組みを整備・運用しています。

コンプライアンス

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ行動規範」および「グループ・マネジメントポリシー」に基づき、一人ひとりがコンプライアンスを意識した適切な行動を取るために、様々な取り組みを行っています。

コンプライアンス推進体制

推進体制の概要と強化

セガサミーホールディングスのグループ内部統制室長が議長を務め、年2回開催される「グループ・コンプライアンス連絡会議」（主要グループ8社の法務部管掌役員・部長、監査役が出席）並びに、同企業の担当者による年2回開催の「実務部会」のもと、法令・社会規制を遵守した健全な企業経営を展開するための社内体制構築を図っています。

内部通報制度

グループ内・社内での自浄機能を作用させ、法令違反や不正行為等を未然に防ぐため、内部通報に関する制度（内部通報制度）を制定しています。グループ各社および社外の法律事務所に通報窓口を設置し、通報事項に関する調査、是正措置、再発防止策の実施、通報者の保護制度を設け、社内イントラネット並びにポスター掲示により全社員に周知しています。通報された事案についてはいずれも規定に則り適正に処理しています。

コンプライアンス推進活動

ルールの徹底と意識強化

コンプライアンス意識の醸成と浸透を図るため、グループ各社向け階層別研修の実施や、遭遇しそうな具体例を編集した「コンプライアンスハンドブック」・漫画を使って分かりやすくした関連記事等を全社員が閲覧できるイントラネットに掲載し、理解と浸透に努めています。

● グループ各社における主なコンプライアンス研修実績（2014年度）

種類	対象	会社名	回数	人数(のべ)
役員コンプライアンス研修	グループ18社の会社役員、監査役、執行役員	HD、セガ、サミーSNW、トイズ、TMS、PSRほか	6回	141名
新入社員研修	新入社員	HD、セガ、サミーSNW、トイズ、TMS、PSRほか	5回	111名
各種コンプライアンス研修	グループ会社役員、全社員	HD、セガ、サミーSNW、トイズ、TMS、PSRほか	44回	1,072名
個別テーマ研修（法務・契約・知財・情報セキュリティ、個人情報保護法、下請法、食品衛生研修ほか）	グループ会社役員、全社員、担当部門社員（研修によって異なる）	HD、セガ、サミーSNW、トイズ、TMS、PSRほか	41回	1,409名

※ 活動年度における旧会社名で記載しています。また以下の会社は略称で記載しています。
HD：セガサミーホールディングス(株)、SNW：(株)サミーネットワークス、トイズ：(株)セガトイズ、TMS：(株)トムス・エンタテインメント、PSR：フェニックスリゾート(株)

反社会的勢力の排除

セガサミーグループは、反社会的勢力による経営への関与の防止のために、グループ行動規範に反社会的勢力との一切の関係を排除する旨を明記するとともに、取引先との契約書へのいわゆる暴排条項の組み込み、取引先が反社会的勢力に該当するか否かのチェックシステムの導入をグループとして行っています。反社会的勢力からの接触を受けた時は、適宜に警察・弁護士等を含め外部機関と連携して組織的に対処します。

腐敗防止

「グループ行動規範」において、(1) 贈賄をはじめ利益供与、便宜供与とみられるあらゆる腐敗を防止すべきこと、(2) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、関係法令に基づき定めた社内ルールを遵守して、公明正大に行うべきことを明記、2014年7月には「グループ行動規範」をより具体的に示す「グループ・マネジメントポリシー」を制定しました。また、「海外贈収賄禁止に関する方針」については、中国語版・韓国語版も作成しグローバルでの浸透を強化しています。

安全保障貿易管理体制

事業を国際展開しているセガグループでは、外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づき、貿易管理に取り組んでいます。

会社規程の整備や社員向け研修の実施、イントラネットでの情報提供等により、輸出に携わる社員一人ひとりの理解の促進と意識を高め、法令違反を未然に防止するとともに、内部監査、監査結果による改善策を実施することで、適正な貿易管理体制を維持しています。

リスク・マネジメント

基本的な考え方

セガサミーグループは、「グループ・リスクマネジメントに関する方針」に基づき、事業の推進および企業価値の維持・向上を妨げる重大なリスクに対し、平時より対策を検討し、損失を最小化する体制を構築することで、様々なステークホルダーへの影響を極力小さくするよう最大限の努力を行い、社会から強い信頼を得る企業を目指しています。

リスク・マネジメントの状況

危機管理

セガサミーグループでは、「グループ·リスクマネジメントに関する方針」のもと、会社規程として「危機管理規程」を制定し、潜在するリスクの低減および危機の未然防止に努めるとともに、重大な危機が発生した場合の即応体制を整備・維持しています。また、「首都直下地震における帰宅困難者対策のセガサミーグループ基本方針」を策定し、「備蓄品手配」、「建物設備の安全構築」、「安否確認の実施」、「帰宅ルール」についてグループ会社ごとに対応策を定め、イントラネット等で全社員への周知を図っています。

知的財産の管理

セガサミーグループは、知的財産を企業競争力を高める重要な要素かつ企業経営を支える経営資源と位置づけ、グループ会社ごとに方針を掲げて取り組んでいます。エンタテインメントコンテンツ事業では、各部門に知的財産推進委員を置き、プロジェクトの現場責任者・担当者の知財意識啓発を行うことで、第三者の知的財産権侵害を未然に防ぐとともに自社の知的財産権の適切な管理を行っています。また、ブランドの維持・向上のために模倣品対策等も実施しています。遊技機事業では、研究開発の段階ごとに技術調査等を実施し、徹底したリスクアセスメントを行っています。また、知的財産研修の開催や社内イントラネットでの関連情報掲載により、社員の意識啓発に努めています。

情報セキュリティ

セガサミーグループでは、お客さまの情報をはじめ、経営情報や営業情報等すべての情報を重要な財産と捉え、「グループ情報管理に関する方針」「グループITセキュリティに関する方針」「グループ個人情報保護に関する方針」「情報管理規程」等を定めています。また、グループ各社の担当者による情報共有の場を設け、グループ全体での取り組みを一層強化するための施策を話し合う等、情報管理体制の強化に向けた取り組みを進めています。

個人情報については、「グループ個人情報保護に関する方針」に基づき各社で「プライバシーポリシー」を定め、お客さまの個人情報への不正アクセスや紛失、改ざんおよび漏洩等を防止する対策を講じています。今後もeラーニング等も新たに活用しながら社員への教育・啓発を実施し、個人情報の適切かつ安全な取り扱いに努めます。

01 お客さまとともに

CSR憲章

私たちは、いつの時代においても、お客さまとともに歩みながら、夢と感動溢れるエンタテインメントを提供し続けます。

セガサミーグループのアプローチ

人は「衣、食、住」のみならず、楽しさやワクワクがあることによっていきいきとした生活が送れます。セガサミーグループの存在意義であり、社会から期待されていることは、エンタテインメントを通じて、人びとに笑いや喜び、夢や感動をお届けし、日々の生活に潤いや充足感、また明日への活力といった価値をもたらすことです。安心・安全で高品質な製品やサービスの提供はもとより、エンタテインメントを通じて社会課題の解決の一助となる製品やサービスを開発・提供します。また、業界団体等とも積極的に連携・協力し、青少年の健全育成や適切な遊戯（遊技）環境づくりのための活動も推進します。

2014年度の主な取り組み

1. お客さま満足の追求：お客さまニーズの把握と反映
2. 製品・サービスの安全と品質保証：品質保証体制、問題発生時の対応、施設の安全確保
3. 健全に楽しんでいただくための取り組み：製品表示、不正対策、のめりこみ問題、青少年育成
4. 製品・サービスを通じた貢献：共遊玩具とプレパレーション支援ツール

VOICE

販売後もこつこつと誠心誠意対応し、お客さまに信頼していただける関係づくりを心がけています。

2014年度下期のビッグタイトルで1位を獲得でき嬉しく思います。営業活動ではお客さまとの信頼関係を一番大切にしています。こつこつと誠実な対応を心がけており、何度もお店まで足を運び、販売後のアフターフォローも誠心誠意行っています。駆け出しの頃、あるホールのお客さまから『サミーだから、新井君だから買ってあげるよ』といっていただけたことが今でも仕事の励みになっています。ただ、担当が変わるたびに業績に影響が出るのは避けるべきなので、組織としての信頼関係の構築を常に念頭に置いています。サミーの機械が一人でも多くの方々の目に触れ、パチンコという日本独自の「遊び」を体験し、楽しんでいただけることに今後も貢献していきたいと思います。

サミー株式会社　営業本部　**新井 浩太**

サミー株式会社に入社10年目。入社当初から札幌支店札幌営業所勤務。
現在は、札幌とその近郊エリアにあるホール70店舗を担当。
2014年度最優秀営業マンとなり、全国1位を獲得。

お客さま満足の追求

基本的な考え方

セガサミーグループは、お客さまのニーズや市場の変化を的確・迅速に把握し、製品開発やサービスの向上に活かしていくことが、継続的にお客さまから支持していただくために必要だと考えます。市場に製品・サービスが溢れる中、「買って良かった」、「もう一度利用したい」と思っていただける製品・サービスの提供をするために、それぞれの事業や業界の特性に合わせた手法で、お客さまの声やご要望をうかがう仕組みを整えるとともに、マーケティング調査等から得られた情報も活かした製品づくりやサービスの提供に努めています。

お客さまニーズの把握と反映

部門の連携と情報共有

エンタテインメントコンテンツ事業では、お客さま満足度の向上を実現するためには、多様化するニーズを的確かつ迅速に把握し、製品開発やサービスに活かしていくことが重要と考えています。開発・マーケティング・販売等の各部門が密に連携し、マーケティングリサーチ機能を強化しています。

遊技機事業では、ホールとユーザーの2者の「お客さま」に満足いただける遊技機を開発するために、2007年より開発、営業、生産部門が連携し、「ゲート」という3部門間の意見交換の場を、製品開発から市場へリリースされるまでに3回（企画書段階・試作品段階・リリース直前）設けています。リリース後にも総括会議を行い市場の反応や品質についてレポートを作成してその情報を積み上げ、次の機種開発に活かしています。

開発における活動

エンタテインメントコンテンツ事業ではセガグループのグループバリューである「創造は生命（いのち）」の精神のもと、お客さまに当事業ならではの「遊び」をお届けするため、日々革新的な製品の開発にチャレンジしています。

「遊びを通じてお客さまに夢と感動を届けたい」それが、独創性と先見性でヒット機を創出してきた遊技機事業の開発チームのプライドです。企画・開発段階の早期から多様化する市場環境やニーズを的確に捉えたマーケット・インの手法を強化しています。ユーザーの皆さまにはグループインタビューや商品評価アンケートを実施し、ホールの皆さまには積極的な対話とともに定期的なアンケートを実施し、ニーズを迅速に捉えています。

お客さまの声を聞く活動

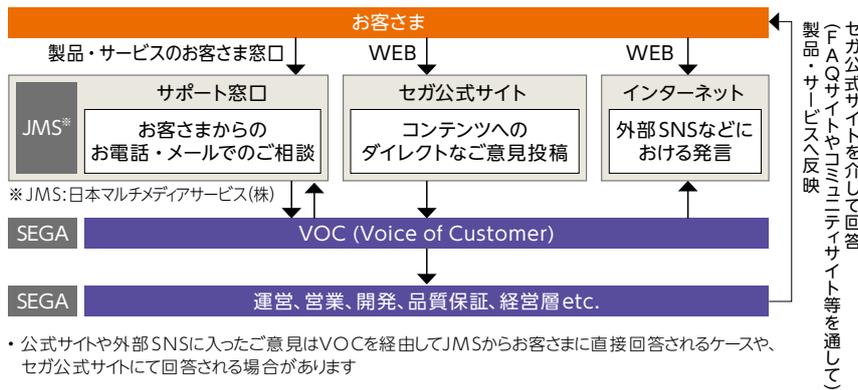
エンタテインメントコンテンツ事業では、お客さまと直接対面する展示会や店頭イベントで製品の魅力を伝えるために、お客さまの層や趣向に合わせたプロモーションを展開しています。また、直接対話やアンケート活動を行うことで、お客さまの声をさらなる製品価値の向上に活かしています。

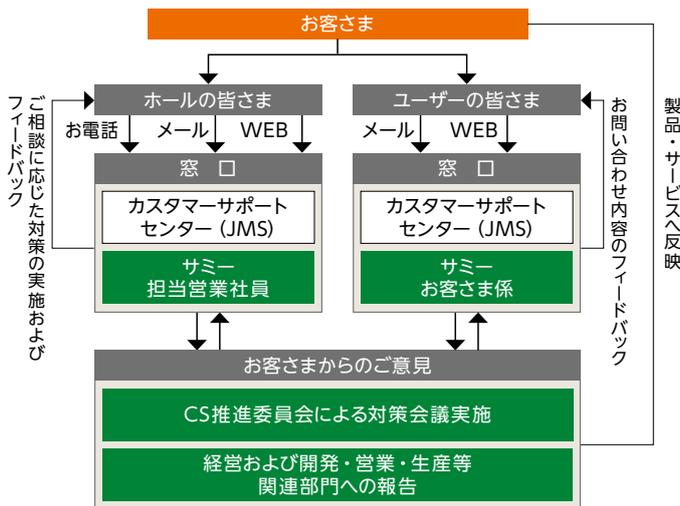
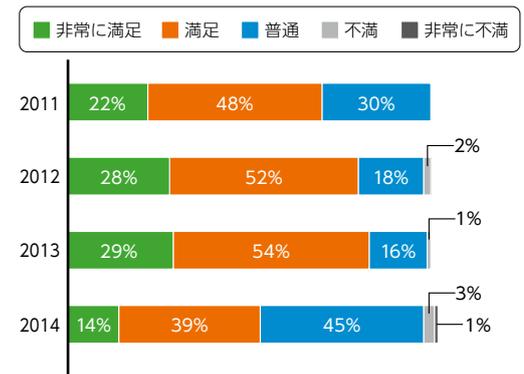
遊技機事業では、製品の導入ごとにユーザーさまを対象に定量・定性的な市場の動向調査を行っています。また、定期的にホールを訪れ、ホールさまと積極的に情報交換を行うことにより、ホールの皆さまの声を聞き、製品開発に活用しています。

お客さまサポート体制

エンタテインメントコンテンツ事業では、お客さまの様々な声に総合的に対応するため、ユーザーサポート窓口設置のほか、お客さまの声を社内各部署に届ける専門の部隊（Voice of Customer＝以下VOC）を設け、製品およびサービス品質の向上につなげています。2015年5月からは、さらなる顧客満足追求のため、旧来のお客さま相談室チームと、迅速かつ適切に市場の声をフィードバックする仕組みを設計・構築するチームの2チーム制にVOCを再編しました。膨大なデータを、お客さまにも社内にも喜ばれる形にしてお届けできるVOCを目指しています。アフターサービスにおいては、保守・補修・パーツ提供や物流機能を担うセガ・ロジスティクスサービスと社内対応部門が、品質問題の傾向分析や改善策を討議し、開発・生産・販売へ報告することで改善を図っています。

● お客さまの声にお応えする仕組み・体制（エンタテインメントコンテンツ事業）

・公式サイトや外部SNSに入ったご意見はVOCを経由してJMSからお客さまに直接回答されるケースや、セガ公式サイトにて回答される場合があります

遊技機事業におけるお客さまの声に対応する窓口として開設した「カスタマーサポートセンター」も2015年度で10年目になります。現在は、お客さまの期待に沿ったサービスの提供を目指して、満足度貢献因子の調査・検討を進め、最もお客さまが期待されている「的確な故障対応」を迅速に提供するために、オペレーターの教育研修や故障内容の分析に注力しています。

● お客さまの声にお応えする仕組み・体制（遊技機事業）

● カスタマーサポートセンターの利用に関する満足度調査の結果

お客さまとの双方向コミュニケーション

エンタテインメントコンテンツ事業では、登録無料の「SEGA ID」をお持ちであればどなたでもご利用いただける『it-tells（いってる）』というコミュニティサービスを展開しています。『ファンタシースターオンライン2』や『ソニック・ザ・ヘッジホッグ』シリーズ等、当事業が提供するゲームやサービスをはじめとした共通の趣味関心を持つお客さま同士の交流の場として、また当事業とお客さまとが双方向でコミュニケーションを図れる場として活用されています。2015年8月で5万人を超えるお客さまにご利用いただいており、今後はさらなるサービスの拡充を目指しています。

コミュニティサイト『it-tells（いってる）』

遊技機事業の情報配信サイトとして2014年にオープンした『Sammy Plus』は、約8千店のホールの皆さまのご登録をいただきました。今後は、単なる情報発信だけに留まらないサービスを展開し、お客さまにご活用いただける便利ツールとして成長させていきます。

Sammy Plus

ホール関係者さま専用サイト『Sammy Plus』

お客さま視点での業務改善活動

　アミューズメント施設や飲食店施設を運営するセガ エンタテインメントでは、より多くのお客さまに笑顔と感動をご提供するためのサービスやお店づくりに努めています。各店舗では地域特性やお客さまの層に合せて、社員が様々なアイディアを出し合い、工夫を凝らしたサービスを展開しています。また各店舗の活動を表彰する「感動大賞」制度を設け、社員のモチベーションと業務改善活動の向上を図っています。

製品・サービスの安全と品質保証

基本的な考え方

　セガサミーグループでは、製品やサービスを提供する各国・地域、業界の特性に応じた最適な品質保証体制をグループ各社がそれぞれ構築し、開発から生産、販売、サービスにいたる全プロセスにおいて、品質の維持・向上に努めています。特に製品の安全性については、各種法令や業界が定める基準はもとより、グループ各社が定める自主基準に基づき、徹底した安全管理を行うことにより、お客さまから信頼と満足を得られる製品・サービスのご提供を目指しています。

製品・サービスの安全と品質保証

品質保証体制

　エンタテインメントコンテンツ事業では、営業、開発等のラインから独立した立場の品質保証部が、品質保証規程に基づいて製品やサービスの安全性と品質を一括して管理することで、体制の強化を図っています。特に製品の安全性については、当事業が定める自主基準並びに業界団体（JAMMA※）のガイドラインに準拠し、安全管理を徹底しています。また、海外においても、現地の規制や状況に合った品質保証体制を構築しています。

　セガトイズでは、「お客さま重視」と「製品安全の確保」を経営の最優先事項に掲げ、製品安全に関する基本方針に基づく自主行動計画を策定・推進しています。開発・設計段階では、設計審査や妥当性検証のゲートを設け、自主基準に加え日本玩具協会の定める玩具安全基準（ST基準）、食品衛生法等に準拠した安全性の確保と市場での不具合の未然防止に努めています。生産開始前に、試作品を用いた耐久・耐過重試験や落下試験等、様々な品質試験を徹底し、製品品質・安全を確認しています。また、玩具は幅広い層のお客さまが使用することから、製品含有物質についての食品衛生法等に基づく品質基準、ポリ塩化ビニル(PVC)は管理要項、誓約書を設ける等、厳しい自主基準を設けています。

※ 一般社団法人日本アミューズメントマシン協会

耐久試験、耐荷重試験、落下試験

スイッチやボタン、耐荷重、落下時等の耐久性を確認します。

静電気試験

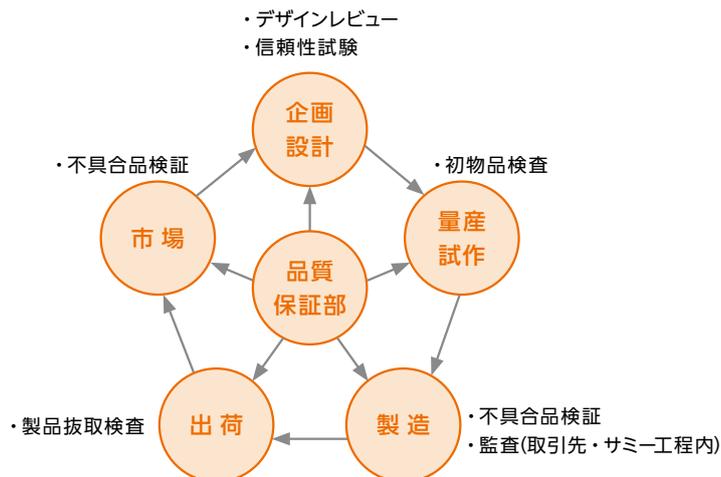
人体モデルと等価の静電気を製品に印加し、安全性、故障等が発生しないかを確認します。

高温高湿槽試験

温度、湿度を可変できる装置で様々な環境条件での保存性、動作等を確認します。

蛍光X線分析装置

製品にカドミウムや鉛、水銀等の有害物質が含まれていないかをすべての製品で確認します。

遊技機事業では、積極的な創意工夫と効果的に改善を行う品質保証活動により、安全で良質な製品やサービスを提供しています。また、人体の安全にかかわる「重要不具合」ゼロという目標を設定し、社内規程と品質保証規程を設け、品質マニュアルの作成や、品質管理文書・品質記録の作成、そして取引先においても4M（Man, Machine, Material, Method）管理がされているか、などのチェックを行っています。また、開発・営業・生産との連携強化による品質向上も図っています。

問題発生時の対応と情報開示

エンタテインメントコンテンツ事業では、製品やサービスが起因となる品質問題が発生した場合は、その規模や種類に応じて、確実で迅速な対応を行うとともに、恒久的に再発を防止するための体制強化も図っています。情報開示については、ダイレクトメールや業界紙等を通じて速やかに行い、必要に応じて専用窓口を設置するなど、アミューズメント施設運営事業者さま、ユーザーさまの不利益を最小限に抑えるよう努めています。

遊技機事業では、品質上の問題が発生した場合には、定められた規定に基づき関係部署に報告され、お客さま重視の迅速な対応とあわせて適宜情報を開示することとしています。品質上の問題への対処としては、まず不具合現品を検証することによって、設計・製造・輸送など、どの段階の問題なのかを速やかに判断します。その結果をもとに開発・営業・生産部門と連携し、いち早く問題解決し、再発防止を図れるよう努めています。

法規制に対応したものづくり

遊技機事業において製品を量産・販売する際は、「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則」に基づく複数の許認可プロセスを経ることが義務づけられています。まず、一般財団法人保安通信協会に型式試験申請を行い、その後、各都道府県公安委員会の検定※を取得し、営業・生産段階へと進むことができます。

※ 自社が開発した遊技機の型式が国家公安委員会が定める技術上の規格に適合しているか否かを審査する検定。

施設・サービスの安全確保

アミューズメント施設事業では、アミューズメント機器はもちろん、お客さまの安全にかかわる施設内は定期的に設備点検を実施し、お客さまの安全確保に努めています。また、多くのお客さまに安心して気持ち良く過ごしていただくために、分煙エリアの設置等も積極的に進めています。今後も、自社で定めるチェックリストに基づき、運営面、管理面の両面から自主点検を実施し、安全にかつ安心して楽しんでいただける環境確保に努めます。

健全に楽しんでいただくための取り組み

基本的な考え方

セガサミーグループの製品・サービスを健全にお楽しみいただくために、各種法令遵守や消費者保護の観点から、利用者の皆さまが安心して選べる・楽しめる環境づくりに努めています。エンタテインメントコンテンツ事業では、業界団体基準に加え独自の表示を徹底し、利用対象範囲を明確化しています。また、パチンコ・パチスロ業界では、のめりこみ問題や不正行為等の諸問題に対し、業界全体で解決策を模索し、業界の健全化に貢献していきます。

製品・サービスへの表示とラベリング

家庭用ゲームソフトの製品パッケージや取扱説明書などは、お客さまに安心して製品やサービスをご利用いただけるよう、説明法規制や業界団体が定めるガイドライン・社内規程に準じて、分かりやすく適切に表示することを徹底しています。また、各種製品における利用対象範囲の明確化や倫理問題にも積極的に取り組んでおり、各国の倫理審査結果に従った表示を行っています。日本においては、CERO※に基づく対象年齢表示に加え、独自の自主基準も表示しています。

※ 特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構。

龍が如く0　誓いの場所
©SEGA

CERO

パッケージによる
セガ独自の
自主表記

CEROのレーティング制度に基づく
対象年齢表示と自主基準の表示

不正防止対策

遊技機の射幸性の抑制と不正改造の防止を主な柱とした「風適法施行規則等の改正」（2004年7月施行）を受けて、遊技機事業では、不正な方法で利益を得る、いわゆる"ゴト行為"を未然に防ぐために遊技機不正対策ガイドラインを設け、継続的に市場情報を収集し不正に強い遊技機づくりに取り組んでいます。また、一部市場に流布している根拠の無い不当な攻略情報に対し、サミーのWEBサイトや小冊子等で注意を促すなどの対策を図っています。

機種別の詳細情報や遊び方を掲載した小冊子でも、不正防止等の注意を促しています

パチスロ北斗の拳　強敵
©武論尊・原哲夫/NSP 1983, ©NSP 2007
版権許諾証YFC-128 ©Sammy

のめりこみ問題への取り組み

パチンコ業界では、のめり込みの実態調査や過度な遊技を予防するための注意喚起、のめり込みに起因する児童車内放置撲滅の活動を行っています。遊技機事業では、かねてより、パチンコ依存問題相談機関「認定特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク」を支援しています。また、広告宣伝の際、様々な媒体に共通標語「パチンコ・パチスロは適度に楽しむ遊びです。のめり込みに注意しましょう。」を掲載し、啓発に努めています。

依存予防啓発ポスター

業界・外部団体との連携

パチンコ・パチスロ業界では、のめり込み問題や不正行為等の諸問題があることも事実であり、業界全体がベクトルを合わせて問題解決を図ることが重要と考えています。闇スロ（違法賭博）撲滅に向けた活動（ポスター作成、HPコンテンツ内容の充実、保有実態調査の実施など）にも積極的に参加しています。

パチンコ・パチスロ産業21世紀会
「闇スロ撲滅ポスター」

適正なコンテンツ利用のための整備

スマートフォンやタブレット端末向けコンテンツを提供するセガゲームス並びにサミーネットワークスでは、未成年者の過度なゲーム利用や課金の問題に配慮し、一部タイトルで年齢認証による月間の課金上限設定を設けています。また、有料で販売しているポイント等を使用して引くガチャについては、入手できるアイテムのレアリティごとの、もしくはアイテムごとの入手確率を明記することを社内ガイドラインで定めるなど、曖昧な表現による過度な期待や、それによる過課金を防ぐよう努めています。今後も、利用者の皆さまが安心して楽しめる健全なゲーム環境づくりに努めていきます。

青少年の健全な育成に向けた取り組み

アミューズメント施設事業では、業界の発展と健全な施設運営を実現するために、「AOU青少年アドバイザー※」資格の取得を推奨しています。多数の社員が資格を取得し、各地域の方々とともに青少年の指導・育成にかかわっています。また、業務運営マニュアルにも、未成年者の入場制限や喫煙への対応手法等を明示し、社員教育を徹底しています。飲食店施設事業では、アルコールを提供する事業者の責任として、適時、入店時の年齢確認を行います。貸切りパーティー等で未成年の方がご来店する場合は、未成年者か識別するリストバンドをご提供し、サービスの誤りの防止に努めています。適正飲酒についても、サービスマニュアルで社員教育を徹底しています。

※ AOU青少年アドバイザー：AOU（一般社団法人 全日本アミューズメント施設営業者協会連合会）主催の青少年指導員講座を修了したアドバイザー。

リストバンド

製品・技術を通じた貢献

耳の不自由なお子さまも一緒に楽しめるボードゲーム

セガトイズの『フラッシュパッド』は耳の不自由なお子さまも一緒に遊べるよう配慮された玩具で、「触った部分の色が変わる」「勝敗が数値や色で分かる」「音量が視覚で分かる」等、聴覚が不自由でも視覚でゲームや対戦ができる工夫がされており、2014年日本おもちゃ大賞共遊玩具部門優秀賞を受賞しました。さらにこのゲームは、目と手の連動力を鍛え、脳の活性度が高まるため、認知症予防等としてあらゆる年齢層の方々に遊んでいただけます。

2014年12月より被災地復興応援イベントでも遊んでいただいています。

アニメを活用した小児医療、小児歯科医療の負担軽減のためのツール

『それいけ！アンパンマン』や『名探偵コナン』等のアニメーション制作を手がけるトムス・エンタテインメントでは、2010年にアニメ映像を活用した画期的な小児医療向けプレパレーション※支援ツール『スマイルタッチ』、2013年には、小児歯科向けの『スマイルタッチデンタル』も発売しました。今後も子どもたちの立場を尊重した医療環境やサービスの充実に貢献していきます。

※ プレパレーション：病気・検査・治療等について子どもの年齢や理解度に応じた説明を行い、理解を促すことで、子どもだけでなく家族がともに前向きに治療に取り組む意欲を引き出す医療概念であり、実践手法です。また、治療中に「大声で泣く・治療を拒否する」等のストレス反応を示す子どもに対し、そういった不安や恐れを軽減する手法（ディストラクション）も「プレパレーション」の一種と捉えられ、近年では病児ケアを行う際の重要な要素として急速に小児医療の現場に広がりつつあります。

スマイルタッチ

スマイルタッチ デンタル

02 お取引先とともに

CSR憲章

私たちは、お取引先と公平・公正な関係を保ち、互いに切磋琢磨し、良きパートナーとして、ともに夢と感動溢れるエンタテインメントの提供を目指します。

セガサミーグループのアプローチ

お取引先は、仕事を通じて同じ目的を目指し、互いに切磋琢磨する良きパートナであると考えます。清廉性、経済性、安全・品質、保守、技術、環境という多角的な視点で、お取引先を選定する基準や体制をグループ全体で整えると同時に、お取引先のご理解・ご協力を得ることで、相互信頼の上に公平・公正で良好な関係を築いていきます。そのために私たちは幅広く情報収集し、お取引先に伍した知識と判断力を持ち、お互いに適切な情報を交換し合いながら、夢と感動溢れるエンタテインメントの提供をともに目指します。

2014年度の主な取り組み

1. 公平・公正な取引
   - 下請法遵守体制の強化を目的とする研修を実施
     （受講者数　エンタテインメントコンテンツ事業：6回・282名、遊技機事業：12回・約200名）
   - 適切な発注手続き遂行のためのシステム導入（遊技機事業）
2. お取引先とのパートナーシップ
   - 遊技機事業の合同品質会議開催（のべ17社79名が参加）
   - アミューズメント施設運営パートナーが複数のビジネスモデルからプランを選択できる新たな仕組みを導入

VOICE

ゲームへの情熱と綿密なコミュニケーションで、強い信頼関係を築きました。

　お取引先と連携して製品を作る際は常にいえることではありますが、言葉も文化も違う海外のお取引先においては、信頼関係の構築には特に尽力する必要があります。韓国の開発会社ナディックゲームスのオンラインゲーム『クローザーズ』をライセンスインし、日本のお客さまに向けてローカライズするプロジェクトにプロデューサーとしてかかわっている中でも、強く実感しています。

　今回のプロジェクトでは、韓国でのサービスイン以前から開発にかかわりました。ローカライズ自体に必要な期間は半年ほどですが、1年以上毎月のように韓国に足を運び、時には夜中まで話し合って、ゲームに対する情熱とノウハウを共有してきました。その結果、こちらの意見がより良い結果を生むと信頼していただけるようになり、また要望を正しく理解してゲームに反映していただけるようにもなりました。互いに強い信頼関係を築けたことで、どの国でも喜んでいただけるものができたと感じています。

『クローザーズ』2015年8月、日本でオンラインサービス開始

株式会社セガゲームス　コンシューマ・オンラインカンパニー　国内アジア事業部　国内オンラインビジネス部　関口 悦昭

株式会社セガへオンラインゲーム運営担当として入社。2012年度より『ラスティハーツ』のプロデューサーを経て、2015年度より『クローザーズ』のプロデューサーを担当。

公平・公正な取引

基本的な考え方

セガサミーグループでは、お取引先との公平・公正な関係を構築することをグループ行動規範に明記し、常に清廉・透明で公正な取引を徹底しています。社会的責任はサプライチェーン全体の課題であることから、お取引先の選定や取引の継続については、信用度、技術力、開発力、価格、環境への対応力等を総合的に考慮し、公平かつ明確な基準で判断しています。また、お取引先との公平・公正な取引を実践するために、下請法遵守を推進する体制をグループ各社に設けて管理面の強化を図るとともに、関連部門や対象者向けの教育を継続的に実施しています。

お取引先への要請事項

「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」にそって、以下の項目に対する取り組みをお取引先へ要請しています。

Ⅰ. 労働
非差別・人権尊重、賃金、労働時間、団結権、児童労働禁止

Ⅱ. 環境
化学物質管理、環境影響の最小化、3R、廃棄物の適正処理と削減

Ⅲ. 安全衛生
職場の安全衛生対策、労働災害・労働疾病、健康管理

Ⅳ. 品質・安全性
製品安全性の確保

Ⅴ. 公正取引・倫理
汚職・贈収賄、優越的地位乱用等の禁止、情報提供、知的財産、輸出管理

Ⅵ. 情報セキュリティ

「セガサミーグループ・サプライチェーン CSR 調達ガイドブック」
http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/pdf/csr/20141101_supplychain_csr.pdf

公平・公正な取引の徹底

調達活動

エンタテインメントコンテンツ事業では、グループ行動規範に基づき、儀礼廃止や金品の贈与、接待等を行わない旨をお取引先に書面で通知することで、取引関係の清廉性の維持を表明しています。また、社内規程に基づく継続的なお取引先の評価・選定および管理を複数部門による審査の上、行っています。アミューズメント機器分野においては、2011年度に「AM資材調達方針」を定めました。

AM資材調達方針

[基本姿勢]

1. 当社のAM資材調達活動にあたる全ての社員は、法令・社会規範を遵守し、「セガサミーグループ行動規範」及び各種社内規程に則り良識ある行動をします。
2. 当社のAM資材調達は清廉・公正を旨とし、お取引先に対して公平かつ誠実に対応いたします。
3. お取引先とは、公正な取引のもと信頼関係構築に勤め、協力して技術・品質の向上、経済性・効率性を追求し、相互繁栄を目指します。

遊技機事業では、「購買外注管理規程」、「お取引先口座管理規程」など各種規程に基づき、お取引先の評価・選定を行っています。新規お取引先においては、複数部門による審査を行い、相手先や外部調査機関から入手した情報をもとに適正性を判断し選定しています。また、新規取引開始の際は、「清廉性について」の書面をもとに、直接管理職より内容を説明しています。購買取引においては、サプライチェーン全体で「グループCSR憲章」、「グループ行動規範」に基づいた購買活動を推進しています。2016年度より「セガサミーグループ・サプライチェーンCSR調達ガイドブック」に則した運用も網羅するため、主要お取引先へガイドブックの内容に関するアンケート等を実施していきます。

下請法遵守体制の強化

エンタテインメントコンテンツ事業では、下請法遵守を推進する委員会を2009年4月に設立し、下請法違反の防止や啓発を行うとともに、管理面の強化を図っています。2014年度も業務上、下請取引が発生する部門を中心に6回（受講者282名）の説明会を実施し、社内イントラネット上の専用WEBサイトも活用して、必要な知識の習得や遵法意識の向上に努めました。

遊技機事業では、下請法の遵守をはじめとしたコンプライアンス体制の構築と運用を最重要事項と捉え、社内教育の強化を図っています。2014年度は、人事制度上の階層別教育研修プログラムに組み込み、約200名が参加しました。また、事務処理をシステム化することで、適切な発注手続きが遂行される体制の整備に努め、お取引先に対して発注書面が送信されるシステムの導入に向けた取り組みを行いました。

お取引先とのパートナーシップ

サプライヤーとの連携

エンタテインメントコンテンツ事業では、サプライチェーン全体で製品の安全性や品質を確保するため、サプライヤーミーティングとコミュニケーションシステム（BATON）による円滑な情報共有を通じ、サプライヤーとの連携強化に努めています。コミュニケーションシステム（BATON)の機能をさらに充実させることで、調達リスクをタイムリーに把握することを可能にし、また、サプライヤーが認識している課題などの掘り起こしもできるように開発を進めています。

サプライヤーミーティングの様子

生産パートナーの品質維持・向上

エンタテインメントコンテンツ事業では、生産パートナーとの協働を重視しています。サプライヤーとしての連携に加え、品質目標に基づく工場監査や組み立て指導等を定期的に実施しています。新規取引に際しては工場監査を義務づけ、継続お取引先にも年1回の工場監査を行っています。監査結果はお取引先に通知し、品質目標を下回る生産パートナーには、対策書の発行や品質会議の実施等改善を依頼しています。また、生産パートナーの自主的な品質管理体制の定着のために、生産部発行の「セガAM製品 検査員教本」で学習し試験に合格した者のみが自主監査できる検査員認定制度を設けています。同教本は中国語版も発行しています。

アミューズメント施設運営パートナーとの協働

エンタテインメントコンテンツ事業では、アミューズメント業界の活性化を重点課題と位置づけ、施設運営パートナーへのきめ細やかなサポートや施策提案を強化しています。2014年度は、『CHUNITHM』、『艦これアーケード』、『ルイージマンション アーケード』等について複数の販売プランをご用意することで、施設運営パートナーが複数のビジネスモデルの中から一番有効だと思われるプランを選択できる新しい仕組みを導入しました。

販売店・パートナーメーカーとの協働

エンタテインメントコンテンツ事業では、家庭用ゲームソフトの魅力を直接お客さまにお伝えするため、販売店の店頭をタッチポイントとして、製品とお店の特性に合わせた店頭販促やイベントを企画して全国規模で展開しています。この販売網の強みを活かして営業・流通組織を持たないほかのゲームメーカーの製品も積極的に取り扱っています。また各メーカーをパートナーとして自社製品同様に細やかな販売サポートを行い、お客さまに優良なゲームソフトをお届けしています。

海外パートナーとの協働

エンタテインメントコンテンツ事業の海外展開においては、各国の法令遵守はもとより、現地の文化や慣習に精通する現地企業との良好なパートナーシップ構築に努めています。特にアミューズメント機器は販売後のメンテナンスやアフターフォローが重要なため、現地の流通業者との緊密な協力関係のもとでしっかりとしたサービス体制を築いています。近年ではこの体制を活かし、自身が流通業者として自社の製品と同じように海外メーカーの機器の販売も行っています。

協力会社との合同品質会議

遊技機事業では、パチスロのユニット組み立てを担当する協力会社を対象に、年2回の合同品質会議を実施しています。会議では、不良率低減に向けた目標を設定し、不具合の共有や技術交流等も行っています。こうした取り組みを継続してきたことで不良率は大幅に減少し、最近では協力会社同士の連携も生まれています。今後もサプライチェーン全体で品質向上と業務改善に向けた連携を強化していきます。

● 合同品質会議の開催実績(2014年度)

<table>
<tr><th></th><th></th><th>上期</th><th>下期</th><th>小計</th><th>合計</th></tr>
<tr><td rowspan="2">協力企業</td><td>のべ参加社数</td><td>8社</td><td>9社</td><td>17社</td><td>17社</td></tr>
<tr><td>のべ参加人数</td><td>15名</td><td>16名</td><td>31名</td><td rowspan="2">79名</td></tr>
<tr><td>サミー</td><td>のべ参加人数</td><td>25名</td><td>23名</td><td>48名</td></tr>
</table>

2014年度合同品質会議

03 株主・投資家とともに

CSR憲章

私たちは、グローバルな視点をもって事業を展開し、
継続的な成長・企業価値の最大化を目指します。
そして、適正な利益還元と適時的確な情報開示を通し、
透明な経営を図り、株主・社会の期待に応えます。

セガサミーグループのアプローチ

適時的確な経営情報の開示と適正な株主還元の実施を、経営の重要課題と位置づけます。
斬新なアイディアに基づく製品開発、安定供給を可能にする生産体制、緻密なマーケティングに基づく販売計画と目先の利益にとらわれない営業姿勢、そして、透明性・信頼性の高い管理体制を整え、株主・投資家の皆さまの信頼に応えます。
また、株主・投資家との様々な双方向コミュニケーション活動を通じ、経営情報を的確に伝達すると同時に、皆さまからのご意見を収集し、経営へのフィードバックを行います。

2014年度の主な取り組み

1. 「セガサミーグループ行動規範」（2014年8月改定）で、株主・投資家に対する基本的な行動として以下を規定
   ① 透明性の高い経営・双方向コミュニケーション　② 積極的かつ公平な開示姿勢
   ③ 適正な利益還元・企業価値の最大化・永続性　④ インサイダー取引に関するコンプライアンス
2. アニュアルレポートやIRサイトに対して、複数の第三者機関より評価を獲得

VOICE

チャレンジを通してコミュニケーション能力を磨き、セガサミーらしいIRの実現を目指します。

以前から外国人投資家比率の高い当グループですが、最近の傾向としては国内外で長期的な投資をされる方が増えています。また、ガバナンスコードへの対応開示要請など、IRへの役割期待も高まっています。IRの業務では、株主の皆さまへ数字の背景をきちんと説明できなければいけませんし、業績の悪い時も誠実にお伝えすることが大切です。そのために高いコミュニケーション能力が問われ、それが仕事のやりがいであり、チャレンジでもあります。業務を通じ、様々な方達とかかわらせていただいていますが、私はもともと「人を楽しませること」が好きでサミーへ入社しました。ですから今後は、エンタテインメント業界らしい斬新なIRの提案もしていきたいと思います。

セガサミーホールディングス株式会社　グループ代表室
IR部　三田 貴史

サミー株式会社へ営業担当として入社。管理業務を経て2014年度よりセガサミーホールディングスIR部に配属となり、アニュアルレポートや株主通信の発行を担当。2015年度より株主総会の開催に携わり、業務の幅を広げている。

適正な利益還元

利益配分に関する基本方針

セガサミーホールディングスは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題として位置づけ、利益に応じた適正な配当を行うことを基本方針としています。安定的な配当を実現すべく、配当は中間および期末の年2回とし、2015年3月期は、中間配当は1株あたり20円、期末配当は1株あたり20円を実施しました。

株主・投資家への情報開示

IR ポリシー

セガサミーホールディングスは、「IR・広報に関する方針」に基づき、金融商品取引法、その他法令および東京証券取引所の定める適時開示規則に沿って情報開示することはもちろん、経営方針や事業活動等の情報を幅広く提供することで、株主・投資家の皆さまからの一層の理解と信頼を得るための活動に努めています。また、法定開示、適時開示規則に該当しない任意開示情報についても、投資家の皆さまの投資判断に影響を与えうるものは、積極的に情報開示しており、東京証券取引所が提供するTDnetを通じて開示するとともに、当社WEBサイトでも開示します。

セガサミーグループ IR・広報に関する方針
http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy.html

株主・投資家とのコミュニケーション

開かれた株主総会の実施

セガサミーホールディングスはより多くの株主の皆さまに定時株主総会に出席していただけるよう、集中日を避け、収容人数に配慮して会場を決定しています。2015年6月の総会には、1,962名の株主の皆さまにご出席いただきました。今後も、ご意見やご質問をいただきやすい仕組みづくり、スムーズな運営等を心がけていきます。

IR活動

国内外における投資家向け説明会等の実施や、株主・投資家の皆さまからのお問い合わせにお答えするためのIRインフォメーションセンターを設置しています。また、国内外の機関投資家や証券アナリストに対して決算説明会を半期に1回開催し、四半期決算に関しては電話会議による説明会を実施しているほか、個人投資家の皆さまと積極的にコミュニケーションを図るために、会社説明会イベントにも参加しています。

日経IRフェア2014

● IR活動実績

	2014年3月期	2015年3月期
決算説明会	2回	2回
四半期決算説明会(電話会議)	2回	2回
スモールミーティング	1回	4回
個別ミーティング（国内）	218回	187回
個別ミーティング（海外）	121回	123回
工場見学会	1回	0回
海外ロードショー	4回（北米1回、アジア2回、欧州1回）	5回（北米1回、アジア2回、欧州2回）
カンファレンス	4回	6回
個人投資家イベント	1回	1回

IR活動に対する外部評価

2014年度に当グループのIR活動が第三者機関から表彰されたものは右の通りです。

- 2014年度日経アニュアルリポートアウォード　優秀賞受賞
  日本経済新聞社(2015年2月)
- 2014年度　全上場企業ホームページ　充実度ランキング
  最優秀サイト 38位　日興アイ・アール株式会社(2014年12月4日)
- 2014年インターネットIR表彰　優秀賞受賞
  大和インベスター・リレーションズ株式会社(2014年11月20日)
- Gomez IRサイト総合ランキング 2014　銀賞受賞
  モーニングスター株式会社(2014年6月5日)

アニュアルレポート
http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing_annual.html

04 社員とともに

CSR憲章

社員一人ひとりの創造性とチャレンジ精神がグループ発展の源であり、最大の財産です。
私たちは、社員がもつ限りない可能性を最大限発揮できる企業文化を育み、ともに成長していきます。

セガサミーグループのアプローチ

2014年8月、「グループ行動規範」をより具体的に示した「グループ・マネジメントポリシー」を制定しました。社員の業務指針にあたるこのポリシ―には「人財に関する方針」、「労働安全衛生に関する方針」が含まれます。会社の最大の財産（人財）である社員が、自らの価値を高め、誇りとやりがいをもっていきいきと働ける快適で安全な職場環境をつくり、社員が自らの成長とグループの成長をあわせて実感できる企業風土を育んでいきます。

2014年度の主な取り組み

1. 「グループ・マネジメントポリシー」の制定、「グループ行動規範」の社会変化に応じた改定（2014年8月）
2. 「人財に関する方針」、「労働安全衛生に関する方針」のグループCSR研修における周知
（管理職層：5社・171名、新入社員：9社・133名）

VOICE

チームワークとコミュニケーションを大切にしながら、人事制度のさらなる充実を図っていきます。

人事部長に就任して最初の大仕事は、準備段階からかかわってきた新人事制度の運営です。ダーツライブは設立から足早に事業拡大してきたことから、資格や役職の定義をはじめ人事制度を整理し直す必要がありました。経営層と協力し、制度設計から携わることができ大変良い経験になりました。当社は社員の関係がフラットで、意欲があれば年齢・性別・国籍などは関係なくチャレンジし、成長できる社風です。女性であることが不利にはなりません。当社の強みであるチームワークとコミュニケーションを大切にしながら、研修制度の充実を図るなど、一人ひとりが成長することに幸せを感じ合える組織を目指していきます。

株式会社ダーツライブ
コーポレート本部　人事部　**永野 あゆみ**

ダーツライブは、ネットワーク対応ダーツマシーン『DARTSLIVE2』を軸に様々なエンタテインメント事業をグローバルで展開。2014年11月に18カ国目の海外拠点となるニュージーランドでサービスを開始。2015年に設立12年目を迎える若い組織。永野は入社5年目で2015年4月より人事部長に就任。

人権の尊重

基本的な考え方

セガサミーグループでは、2014年に署名した国連グローバル・コンパクトで提唱されている「人権に関する原則」を基盤に置いた人財マネジメント（採用、配属、支援等）を行っています。また、「グループ行動規範」や「グループ・マネジメントポリシー（人財に関する方針）」で人権の尊重を明文化することにより、社員一人ひとりが人権に対する認識を高め、行動できるよう努めています。

URL グループ行動規範：http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_csr.html

URL グループ・マネジメントポリシー：http://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/commu/csr/gr_policy.html

各事業の取り組み

エンタテインメントコンテンツ事業では、すべての従業員が気持ち良く働き、最大のパフォーマンスを発揮できるよう、ハラスメントの防止に注力しています。関連セミナーの開催や、イントラネット上で気軽にできるミニテスト、ケーススタディを利用し、ハラスメントに関する理解の徹底を図っています。また、役員および社員（受入出向者、アルバイト、派遣社員を含む）が不安や悩みを相談できる窓口を、相談内容によって選べるよう社内外に複数設置しています。

遊技機事業では、公正な扱いやハラスメントの撲滅に配慮して、新任管理職研修の中でハラスメント研修を実施しています。2015年度よりすべての役員、管理職向けにハラスメントの知識や対応法についての研修を実施して人権に関する理解をさらに深めていきます。また、社内相談窓口とハラスメント対策を連動させた運営も検討しています。

人財の育成と評価

基本的な考え方

セガサミーグループでは、「グループ・マネジメントポリシー（人財に関する方針）」に基づき、公正な評価をするための仕組みを各社で整備しています。社員の育成については、階層や等級ごとに細分化された体系的な研修プログラム、全社員受講可能な教育環境の構築、資格や役割に応じたパフォーマンス発揮を支援する各種仕組み等により、社員の個性とチャレンジを尊重し、能力と創造性を発揮して、自己実現を図ることができる風土づくりを推進しています。さらに、社員の優れた成果を称える社内表彰制度やスキルアップのための教育支援制度等、様々な形で社員のモチベーション向上と成長につながる制度を設けています。

人事制度

エンタテインメントコンテンツ事業では、社員の長期的なキャリア形成とプロ意識の向上のため、複線型人事制度を導入し、組織を率いていく「マネジメント職」と知識や技術を活かしていく「プロフェッショナル職」のコース選択を可能にしています。また、人事制度の適切な運用に不可欠である公正な評価の実現のため、管理職に対し評価者研修を実施しています。そのほかにも社内公募制度等、社員一人ひとりがその力を存分に発揮し、何ごとにも挑戦しようとする自律した企業風土づくりに努めています。

遊技機事業では、社員全員がプロ意識を持ちチャレンジし続けるために、自己選択型の制度を整備し、「マネジメントコース」と「プロフェッショナルコース」を設けて専門性の確立と役割の明確化を図っています。社員一人ひとりに求められる役割を明確化し、成果貢献に応じた適正な処遇を行い、社員のやる気と成果に報いることでパフォーマンスを最大限に引き出すことを目指しています。社内表彰制度も設けており、2014年度の会長賞・社長賞は11案件86名が表彰されました。社員満足度調査の実施や、将来的にチャレンジしたい仕事を申告できる自己申告制度の設置など、社員の育成とチャレンジ意欲を支援し、より適切な人財配置に役立てています。

サミーネットワークスでは、変化の早いエンタテインメント業界の動きに合うスピーディーで公正な人事評価をするために、各部門の長を集めた会議で吸上げた意見も反映させ、2013年に導入した人事制度の見直しを行いました。パチンコ・パチスロのネットワークゲームをパソコン、スマートフォン向けに展開する同社では、今後も随時見直しを行っていきます。2015年4月には、より専門性をもった社員を処遇できる仕組みとして「専門職」を整備しました。

教育・研修制度

エンタテインメントコンテンツ事業では、2013年度に教育研修体系を再整備しました。全社員共通の教育施策と、階層や職種、各部門の特性を反映した教育施策を組み合わせ、社員の能力開発とキャリア開発を推進しています。全社員に向けては、「eラーニング ライブラリ」システムを導入し、基礎的なスキル習得の場を提供しています。管理職層には評価者研修を行い、マネジメント力の強化を進めています。新入社員に対しては、約1ヶ月間の全社研修を充実させています。なお、それぞれの研修後にはアンケートを実施し、フォローアップと施策の改善に活用しています。

また、2014年度より新入社員一人ひとりに専任のコーチをつける「コーチング体制」を導入し、職場全体での新入社員の育成支援、コーチ経験による若手社員の育成強化も図っています。教育機会に対し主体性を発揮し成果を上げている社員には、さらなる教育支援も行っています。

遊技機事業では、「一人前としての能力を習得するまで、組織が責任を持って育成する」という人財マネジメントポリシーに基づき、階層や等級ごとに細分化した研修プログラムを整備し、能力開発の機会を提供しています。新入社員研修については、2014年度から1ヶ月間から5ヶ月間へと延長しました。4月はこれまでと同様ですが、5～8月の4ヶ月間はバリューチェーン研修として、各部門の仕事内容（お客さまに製品が届くまで）の概要を理解できるような研修内容としています。これにより、9月以降に配属された部署で各部門や組織の役割を認識した上での仕事の進め方の習得や、組織を跨いだコミュニケーションの向上をはじめ、様々な副次的な効果を狙っています。

● 階層別教育研修体系（遊技機事業）

階層	対象	研修内容	期間
新任管理職	新任管理職	新任管理職研修 （マネジメントスキル・労務管理・メンタルヘルス・評価）	4日
管理職候補	管理職候補	次世代リーダー育成研修 （業務遂行力、課題解決能力強化）	2日
リーダー	リーダー 1年目～	キャリア研修（自己の棚卸・強みの再確認）	1日
		リーダシップ啓発研修（対人影響力強化）	2日
中堅社員	中堅 3年目～	キャリア研修（自己の棚卸・強みの再確認）	1日
		ロジカルシンキング研修（課題解決、対人折衝力強化）	2日
	中堅1年目	後輩指導力向上研修（傾聴力強化、指導方法学習）	3日
新入社員	入社3年目	プレゼンテーション研修（プレゼン技法、説得力強化）	3日
	入社1年後	新人フォロー研修	3日
	入社時	新入社員研修・バリューチェーン研修	5ヶ月

トムス・エンタテインメントでは、「アニメ作品・原作の権利全般に関する勉強会」を営業本部役職員対象に実施しました。当社ライツ管理室の社員が事務局および講師を務め、2014年度に計33回開催したこの勉強会は、のべ370人が受講しました。「契約書整備の重要性」、「各作品の原作者との向き合い方」、「作品別の権利構造と当社が保有する権利」などについて再確認しながら、アニメーション作品の企画・制作・販売・配給および輸出を主な業務とする当社にとって、最も重要な「ライツ＝権利」の構造について共有・可視化することができ、作品利用時の注意点、課題等についても理解を深めることができました。

多様性の推進

基本的な考え方

セガサミーグループでは、「グループ行動規範」や「グループ・マネジメントポリシー（人財に関する方針）」に基づき、社員一人ひとりの個性とチャレンジを尊重し、個人の生活と仕事の調和に配慮したワークライフバランスなど柔軟な働き方を整備するとともに、多様化が急激に進むエンタテインメント業界の変化に対応するため、年齢や経験、性別、人種を超えた多様な人財の採用・登用を進めています。

各事業の取り組み

エンタテインメントコンテンツ事業では、性別・国籍等の区分けの無い採用を実施し、入社後には導入研修を行いスムーズな配属を支援しています。なお、正社員においては、入社3ヶ月経過時点で勤務評定・人事面談を行い、配属先でのフォローに活用するほか、以降の採用の参考としています。

遊技機事業では、2014年度をキャリア開発施策元年として、具体的に「ジョブローテーション、最適配置、多様なキャリア形成の支援、自己申告制度」を4つの柱に施策を実行し、社員の多様性、社員一人ひとりの力量アップ、社員が成長する基盤の構築を進めています。また、2015年度はセガサミーグループのさらなるグローバル化を見据えた語学研修プログラムの導入を行います。

障がい者雇用や定年退職者の再雇用制度

セガサミーグループ主要10社の平均障がい者雇用率は2015年3月時点で1.8%でした。サミーでは年2回公共職業安定所等主催の合同面接会に参加し、積極的な採用活動による法定雇用率達成を推進しています。エンタテインメントコンテンツ事業では、障がいを持つ社員が能力を発揮するための職業環境整備や、障がい者職業生活相談員による定期面談等を実施しています。また、「高齢者雇用安定法」改正に伴い、遊戯機事業並びにエンタテインメントコンテンツ事業で2006年の制度導入以降、希望者全員を最長5年間再雇用しています。

働きやすい職場環境の整備

基本的な考え方

セガサミーグループでは、異なるライフスタイルや家庭状況など多様な背景を持つ社員の能力を最大限に発揮させるため、各社でワークライフバランスを推進しています。グループ主要10社のデータ（P.37）を見ても、育児休業取得者数並びに育児休業取得後の復職率は経年で増加しています。また男性社員の育児休業取得も増加しています。

ワークライフバランスの推進

エンタテインメントコンテンツ事業では、長時間労働の削減や有給休暇の取得促進に取り組んでいます。また仕事と育児の両立支援の一環として、育児相談窓口や掲示板「子育て広場」を設置しています。このほか毎年度付与されるポイントで様々なサービスを利用できる「セガマイレージ制度」やセガサミーグループ保養所、財形貯蓄制度等、福利厚生制度の充実を図っています。

遊技機事業では、次世代育成支援対策推進法に基づき、育児・介護に関して法定以上の制度を定めています（制度概要はP.37参照）。看護・介護休暇の取得に関しては、エリア限定職の社員を対象に半日単位で取得可能としています。また、有給休暇取得促進に関する制度（リラックスホリデー）を導入するなど、労働時間短縮に向けた取り組みも推進しています。サミーは、2007年から継続して、次世代育成支援対策推進法に基づく基準適合一般事業主として認定されています。今後さらに働きやすい職場環境の整備に努めていきます。

サミー川越工場が「多様な働き方実践企業」認定を受けました

埼玉県では、女性の力で埼玉経済を元気にする「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」が進められており、その一環として、「多様な働き方実践企業」の認定制度が実施されています。この制度は、仕事と子育て等の両立を支援するため、様々な取り組みを行っている企業等を県が認定するものです。

サミー川越工場は2015年6月1日付けで「ゴールド認定※」を受けました。

※ 認定要件6項目のうち、要件を満たす項目数によって「プラチナ」「ゴールド」「シルバー」に区分されます。

労働安全への取り組み

遊技機事業並びにエンタテインメントコンテンツ事業では、社員の健康と安全を守るため、安全衛生委員会を毎月開催しています。また、現場で事故が発生した場合には、直ちに原因追究をするとともに、改善を行い再発防止に努めています。遊技機事業では、現場で発生する事故に対して、常に予防または改善することを徹底し事故件数をゼロにするため、社員自らが身のまわりにひそむ危険要因をチェックし、都度改善する「6S※パトロール」活動を行う等、社員の健康と安全を守ることに力を注いでいます。

※ 6S:整理・整頓・清掃・清潔・躾・セーフティー。

健康管理

エンタテインメントコンテンツ事業では、定期健康診断や人間ドック受診料補助、外部専門相談窓口（社員の家族も利用可）の設置、産業保健スタッフが常駐し、内科・精神科医、保健師、看護師への相談が可能な健康管理センターの設置等の支援体制を整えています。2014年12月に産業保健スタッフを増員し、健康管理面談を拡充しました。また月例の安全衛生委員会の議事録や各種関連情報を社内WEBサイトに掲載し、社員への周知に努めています。

遊技機事業では、健康管理の一環として、ストレスに対するセルフチェック機能向上のためWEBツールを活用する一方、新任管理職を対象にメンタルヘルスマネジメント研修を実施しています。長時間労働者に対しては、問診票配布、産業医面談を行うほか、所属長への労働時間削減への取り組みを促すことの徹底、休暇取得促進等を実施しています。勤務中いつでも産業医・看護師に相談できる体制も整備しています。

労使関係

エンタテインメントコンテンツ事業では、「JAMセガ労働組合」「全日本金属情報機器労働組合東京地方本部大田地域支部セガグループ分会」が、またリゾート事業において「シーガイアユニオン」が労働組合として結成されています。労使相互で定期的な協議を行い、健全で良好な関係を構築しています。労働組合が結成されていない会社においても良好な労使関係を維持しています。

人事・労務に関するデータ

対象範囲

- 2012・2013年度：計9社（タイヨーエレックを除く）、2014年度：計10社
- セガサミーホールディングス、サミー、サミーネットワークス、タイヨーエレック、セガ、セガエンタテインメント、セガネットワークス、セガトイズ、トムス・エンタテインメント 、フェニックスリゾート（活動年度における旧会社名）

※ 連結従業員数は、P.2のグループ概要ページに記載しています。
※ これらのデータの連結の正規雇用人数に対するカバー率は約7割です。

● 社員構成

		2014		
		合計	男性	女性
社員数(人)		7,418	5,832	1,586
	正規雇用	5,410	4,568	842
	非正規雇用	2,008	1,264	744
	外国籍	106	66	40
平均年齢(歳)		37.4	38.3	34.2
平均勤続年数(年)		8.5	9.2	6.4

● 海外子会社の状況

		2014
海外赴任者数(人)		32
海外子会社役員数(人)※		145
	日本からの派遣(人)	99
	現地人財(人)	46

※ 取締役および執行役員

● 管理職・役員構成

	2012	2013	2014
女性管理職者数(人)	44	41	59
女性管理職比率(%)	4.1	4.6	5.7

・2014年度の内訳

		合計	課長職級	部長職級	執行役員級
役職者別人数(人)		1,041	715	285	41
	男性	982	668	274	40
	女性	59	47	11	1
女性比率(%)		5.7	6.6	3.9	2.4

● 採用

	2012			2013			2014		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
新卒採用者数(人)	115	71	44	111	80	31	144	102	42
中途採用者数(人)	175	141	34	126	104	22	288	221	67
定年後再雇用者数(人)	—	—	—	—	—	—	31	28	3

● 障がい者雇用

	2012	2013	2014
雇用人数(人)	99	124	156
雇用率(%)	1.5	1.7	1.8

● 両立支援制度利用実績

	2012			2013			2014		
	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性
産前・産後休暇(人)	—	—	—	—	—	—	—	—	59
育児休業(人)	49	1	48	65	4	61	83	9	74
育児休業復職者数(人)	—	—	—	—	—	—	72	9	63
育児休業復職率(%)	—	—	—	—	—	—	98.2	100	97.9

・2014年度の男性の育児休業取得期間

	合計	1週間以内	1週間〜1ヶ月	1ヶ月以上
雇用人数(人)	9	5	1	3

● ワークライフバランス

	2012	2013	2014
月平均時間外労働時間(時間)	—	—	18.7
有給休暇取得日数(日)	—	—	8.5
有給休暇取得率(%)	44.4	45.3	47.0
ボランティア休暇のべ取得人数(人)	93	51	40
ボランティア休暇のべ取得日数(日)	—	—	108

● 労働安全衛生

		2012	2013	2014
労働災害発生件数(件)		100	108	71
	休業災害	—	—	4
	不休災害	—	—	67
労働災害度数率		—	—	0.5

※ 通勤時の労働災害を含む

● 両立支援制度の例

・育児

制度	法定	会社	各社の制度
育児休業制度	子が1歳到達まで	セガサミー	・最長1歳6ヶ月から2歳6ヶ月までの範囲で
短時間勤務	3歳まで	セガ	・小学就学まで最長2時間／日 ・小学3年生まで退勤時間を最長1時間短縮可
		サミー	・小学就学まで最長2時間／日 ・小学3年生まで最長1時間／日

・介護

制度	法定	会社	各社の制度
介護休暇制度	93日まで	セガサミー	・93営業日／人 （介護短縮時間勤務含む）
介護短時間勤務	93日まで	セガ	・93営業日内で最長2時間／日
		サミー	・93営業日内で最長2時間／日
介護休暇	93日まで	セガサミー	・年間5日／人 （保存有休の充当可）

社会とともに【環境】

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

セガサミーグループのアプローチ

温暖化、天然資源枯渇、廃棄物による汚染といった地球環境問題はますます深刻さを増してきており、環境課題への対応は、すべての企業、個人が取り組むべき最優先課題となっています。セガサミーグループは、「社会の持続的発展」に向けて、環境に関する法令・規制を遵守することはもちろんのこと、省エネやリサイクル、消耗品使用の削減など環境に調和した事業活動に努めるなど環境にプラスになることを積み上げていきます。

2014年度の主な取り組み

1. 環境経営の推進：負荷防止・低減活動および主要な事業所や施設の環境基礎データの集計・把握・評価
2. 製品開発・設計における取り組み：環境配慮設計、サプライヤーへの化学物質適正管理の要請
3. 生産・輸送段階における取り組み：廃棄物のリサイクルや適正処理、容器包装の削減推進
4. 廃棄段階における取り組み：遊技機の下取り機リサイクル率97.24%（2013年度：96.58%）、アミューズメント機は手分解による100%リサイクルを達成
5. そのほかの環境保全活動：各事業会社で新型複合機導入、ペーパーレス運動を推進「黒松の森宣言」（宮崎県）、「セガの森」（長野県）における森づくり活動を継続

VOICE

シーガイアの自然の素晴らしさを伝え、楽しみながら守る活動を実践していきます。

太平洋に面した南北約11km、約700haの黒松林に囲まれ、自然の中に広がるフェニックス・シーガイア・リゾートは、「黒松の森宣言」を策定し、松林の保護・育成など、自然環境の保全に取り組んでいます。2015年4月、宮崎県指定天然記念物であるアオウミガメおよびその産卵地保護を目的としたビーチクリーンを実施しました。ウミガメについての講話の後、106名の参加者が競技形式で楽しく清掃しました。異動半年で手がけた企画が無事成功し、安堵感とともに人とのつながりの大切さを実感しました。今後も、この恵まれた自然環境を活かし、スポーツやエコに関する様々なイベント、プログラムを企画実施していきたいと思います。

フェニックスリゾート株式会社
法務総務部　**中島 英里子**

日本有数のリゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」の運営会社であるフェニックスリゾート株式会社が2012年3月にグループイン。中島は、1994年にシーガイアに入社し、料飲部バーラウンジをメインに勤務。現在は子育てと仕事の両立中。

環境経営の推進

グループ環境マネジメント体制

セガサミーグループは、製品の製造から施設の運営まで多岐にわたる事業を展開しており、環境負荷を低減するためには、まず事業活動全体の環境影響を把握する必要があると考えています。そこで、主要な事業所や施設の環境基礎データを集計・把握し、環境負荷の推移を評価しています。今後も、照明や空調等の効率的な使用をはじめ、省エネ設備への切り替え等を積極的に進めることで、電力使用量の削減に努めていきます。

グループの環境法令遵守の状況

セガサミーグループでは、環境関連法規はもとより、各事業会社が同意した業界団体等の指針を遵守し、環境汚染の防止に努めています。なお、2014年度は、環境関連法規違反および環境を汚染する事故はありませんでした。

製品開発・設計における取り組み

製品の環境配慮設計

アミューズメント機器事業では、低消費電力部品の積極的採用や、照明スイッチの個別設定、待機時の電力消費を抑えるエコモードの搭載等を進め、省電力でエネルギー効率の高いアミューズメント機器の製品化に努めています。

遊技機事業においては、設計・開発段階でグループ会社内で基板の種類を限定するなど、各製品における共通使用を可能にし、資源の有効利用、廃棄物の削減に努めています。さらに、遊技機の消費電力抑制のため、エコ機能を搭載した遊技機を提供しているほか、鉛フリーはんだ部品の採用を進めています。日本遊技機工業組合が業界レベルで環境負荷物質の使用状況を把握しようとする試みにも毎年参加し、情報を共有しています。

・環境配慮設計の事例

製品名	環境配慮のポイント
北斗の拳 BATTLE MEDAL	エコモード機能で20%の節電効果
Star Horse3、 StarBoat	『StarHorse2』のパーツがリユース可能
100&メダル HYOZAAAN!!	従来製品と比較し60.6%の節電効果、 さらにエコモード機能で12.5%の節電効果
アミューズメント 機種多数	保守・点検のしやすさを設計段階から考慮、点検マニュアルの店舗配付により製品を長寿命化

エコ機能を搭載した製品には、マークを表示しています

化学物質の適正管理

アミューズメント機器事業では、「セガ機器・製品化学物質管理基準」に基づき、すべてのサプライヤーに対して「製品含有化学物質管理体制」の構築と運用のご協力を要請しています。サプライヤーには年1回、含有化学物質管理体制の自己監査の結果を報告いただくこととしており、自己監査用チェックシートは、回答することで達成状況を自己評価できる内容になっています。また定期的にサプライヤーの製造拠点を訪問し、体制の構築状況や運用状況を確認し、化学物質の適正管理に努めています。

生産・輸送・廃棄段階における取り組み

生産・輸送段階の取り組み

遊技機事業では、生産工程で発生する廃棄物のリサイクルや適正処理等に積極的に取り組むほか、部材並びにユニット品輸送時の通い箱の利用で、容器包装の削減に努めています。また、2012年9月に新工場の隣接地に新たな流通センターを設けたことで、散在していた部品保管倉庫機能の集約化で輸送にかかわるエネルギーの削減につながっています。

アミューズメント機器のリサイクル

アミューズメント機器は、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にし、廃棄物抑制に努めています。また、整備・点検手順をマニュアル化して店舗で共有し、製品の長寿命化につなげています。アミューズメント施設では、日常整備の徹底等で機器の長寿命化を図るとともに、廃棄機器についてはセガ・ロジスティクスサービス（以下SLS）で手分解し、100%リサイクルしています。SLSでは敷地内に産業廃棄物中間処理業者を招致し、処理コスト低減と不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開し、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」を達成しています。

その他の環境保全活動

オフィスにおける環境保全活動

グループ各社で通年実施している省エネ・省資源活動に加え、2014年度は新型複合機への入れ替え、ネットワークの完全無線LAN化等の施策導入により、エネルギー使用量や紙資源の削減、業務の効率化と社員の環境保全意識向上にもつながりました。今後も各種システム導入の効果を調査し、さらなる改善を図っていきます。

グリーン電力証書システムの導入

2005年度より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書（マイクロ水力、バイオマス）」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置の風力発電機（ハマウィング）を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、Y（ヨコハマ）-グリーンパートナーとして協賛しています。2014年度の実績は95,730kWhです。

日本自然エネルギー株式会社
http://www.natural-e.co.jp/

みんなで創ろう一ツ葉の森林

「黒松の森宣言」を策定し、黒松林の環境保全活動に取り組んでいるフェニックス・シーガイア・リゾートでは、毎年3月に宮崎県一ツ葉海岸の国有林を管理する宮崎森林管理署の「森づくり祭」に参加しています。2014年度も「みんなで創ろう一ツ葉の森林」のテーマのもと、黒松の育樹などが行われました。地元行政や住民の皆さま、林業関係者等約200名の参加者があり、地域と一体の活動に発展しています。過去に植樹した黒松の成長を実感しながら、今後も地域に根付いた森づくり活動を継続していきます。

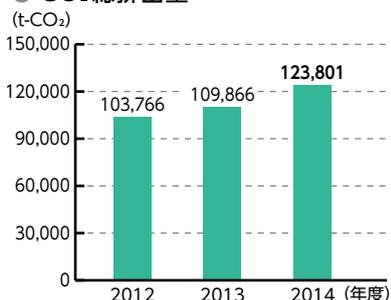
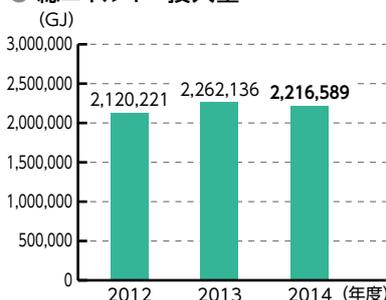
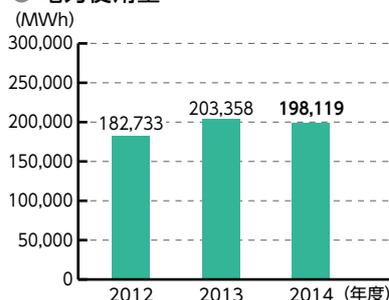
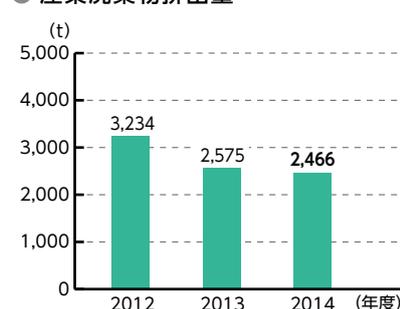
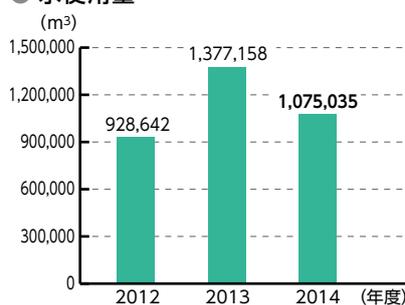
黒松を育樹する社員と地元の方々

セガの森

CO_2の間接排出源となる電気を使用することが事業全体の前提となっているエンタテインメントコンテンツ事業では、この影響を事業活動の中で抑制するとともに、事業外スキームを活用したオフセットにより地球環境保護へ取り組んでいます。その活動の一つとして、2008年4月より10年契約で長野県南佐久郡南相木村と「森林の里親契約」を締結し、その対象となる民有林約3,633ヘクタール（東京ドーム約773個に相当）を「セガの森」と名付け、環境保全活動を展開しています。

「セガの森」の整備による2014年度CO_2吸収量1,684.3t-CO_2は、平均的なアミューズメント施設1店舗のCO_2間接排出量の4年分相当をオフセットする規模です。また、地元の方々のご協力のもと、社員の地球環境保護に対する意識醸成の場としても活用しています。

2014年「森林CO_2吸収量認定書」

環境に関するデータ

- 集計データの一部に床面積による推計値を含みます。
- CO_2総排出量の増加は、電力会社排出係数の影響が大きな要因です。
- 購入電力のCO_2排出係数：各報告年度の前年度の電気事業者別の調整後排出係数を使用しています。

・対象範囲（組織※1および集計対象施設・拠点の数）

			水使用量以外			水使用量※2		
			2012年度	2013年度	2014年度	2012年度	2013年度	2014年度
オフィス								
	セガサミーホールディングス		4	4	4	4	4	4
	セガ		17	11	10	−	5	4
	サミー		45	39	39	45	10	11
	サミーネットワークス		−	1	1	−	1	1
	セガトイズ		1	1	1	−	1	1
	トムス・エンタテインメント		2	2	2	2	2	2
	セガネットワークス		−	−	1	−	−	1
	タイヨーエレック		1	−	11	−	−	1
合計			70	58	69	51	23	25
アミューズメント施設								
	セガ	直営店	194	−	−	−	−	−
		ジョイポリス・オービィ横浜	2	3	3	−	3	3
		温浴施設	1	1	0	−	1	0※3
	セガ エンタテインメント	直営店（AM施設とBee店舗）	−	219	224	−	219	224※4
合計			197	223	227	0	223	227
レジャー施設								
	フェニックスリゾート		1	1	1	1	1	1
合計			1	1	1	1	1	1
生産拠点								
	サミー	川越工場、旧川越工場	2	2	2	2	2	2
	タイヨーエレック	瀬戸工場	−	−	1	−	−	1
合計			2	2	3	2	2	3

※1 活動年度における旧会社名　※2 オフィスのうち賃貸物件人員50名未満の事務所は、2013年度より集計対象から除外しています。　※3 温浴施設売却によるものです。
※4 セガ エンタテインメントは、アミューズメント（AM）施設部門と飲食店施設部門（Bee店舗）で構成されます。AM施設部門は2012年度までセガに含まれていました。
飲食店施設部門のBee店舗分は2013年度より新たに追加しています。

サミー川越工場における環境配慮の状況

			2012年度	2013年度※3	2014年度
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率		98.47%	96.58%	97.24%
環境配慮素材の利用	木材使用量		1,778 t	2,055 t	1,344 t
		うちPEFC認証木材※1	468 t（26.3%）	134 t（6.5%）	66 t（4.9%）
	接着剤使用量※2		0.36 t	—	—
		うち水系接着剤	0.36 t（100%）	—	—

※1 PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム（Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes）による認証木材。第三者機関より持続可能な森林管理の認証を受けた森林より適切に調達された木材。PEFC認証木材が使用できる製品の生産量が減少したことにより、使用量が減少しました。
※2 2013年度より接着された状態での部材の調達に切り替えました。部材の調達においては、環境負荷の少ない水系接着剤を100%使用しています。
※3 精度向上のため、数値を遡及して修正しています。

06 社会とともに【社会貢献】

CSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

セガサミーグループのアプローチ

セガサミーグループは、良き「企業市民」として社会に貢献する必要性を強く認識しています。本業のエンタテインメントを通じて豊かな社会の創出に貢献していくことはもとより、グループ各社、各事業所等において、地域社会の皆さまと積極的に対話しながら、社会への貢献を進めていきます。また、こうした活動を通じて、社員一人ひとりの成長とグループとして強くなるためのベクトル合わせにもつなげていきます。

2014年度の主な取り組み

1. 地域活動：「中高生のインターン生受入」「子ども神輿協力」「小江戸川越ハーフマラソン協賛」「佐倉モノづくりFesta2015出展」等の地域のための支援活動を実施
2. 社会支援：「絵本を届ける運動」「ピンクリボン運動」「玩具の寄贈・除菌」「障害者クロスカントリースキー日本チーム支援」等の社会貢献を実施
3. スポーツ・芸術・文化支援：「東京JAZZ協賛」「水泳教室開催」「学童軟式野球大会協力」「社会人野球、野球教室開催」等で各分野の支援活動を実施

VOICE

「世代間交流」や「遊びの時間」の共有を通して、サミーの社会的価値を実感しています。

現在5つの高齢者養護施設から月2回のペースで参加者にお越しいただき、当社の遊技機を楽しんでいただいています。お仲間の方々とご一緒に、脳を活性化させる効果もあるといわれている遊技機で遊んでいただくことによって、単調になりがちな日常にひとときの「特別な遊びの時間」をお贈りしたいという思いで取り組んでいます。サミーの社員が毎回ボランティアとして参加し、シニアの方々のお手伝いをしながら楽しくお話する「世代間交流」の場としての意義もあると思っています。また参加した社員にとっては、楽しんでくださる方々と接することで「サミーが喜びをお届けしている」と実感でき、エンタテインメントの社会的価値を再確認できる良い機会となっています。

サミー株式会社　コーポレート本部　総務部
村上 研斗（左）　乗替 寿朗（右）

サミー株式会社コーポレート本部が「セガサミーならでは」の活動として推進する、シニアの方々へのパチンコ・パチスロのショールーム開放活動を担当。2006年からスタートしたショールーム開放は、2015年6月に開催200回記念を迎えた。乗替・村上は、若手ならではのパワーでハツラツと活動を支えている。

地域活動

地元の中高生が実習生として公園管理業務を体験

オアシスパークでは2001年より年2回、中高生の職場体験実習生を受け入れており、2014年度までにのべ130名が参加しました。公園管理業務を中心とした実体験を通し「働くことの目的・意義」や「職業人として必要なこと」等を楽しく学び、「気配りの大切さや、コミュニケーション能力を身につけることの大切さを学んだ」など感想を寄せていただいています。受入側社員が自分を見直すきっかけにもなる「実習生受け入れ」を、これからも継続していきます。

公園管理業務をする実習生

地域の皆さまとの交流

エンタテインメントコンテンツ事業では、毎年7月に行われる羽田神社夏季例大祭へ寄付を行うとともに、「子ども神輿」の休憩所を事業所敷地内に設け、飲料を提供しています。また、町内会主導で行われる月例のごみ拾い「街並み清掃活動」へも積極的に参加しています。都市対抗野球大会では、町内会の皆さまからセガサミー野球部への熱い声援をいただきました。今後も地域の皆さまとの交流を密に続けていきます。

羽田神社夏季例大祭の「子ども神輿」

「小江戸川越ハーフマラソン」2014への特別協賛

遊技機事業では、川越工場の地元で毎年開催される「小江戸川越ハーフマラソン」に特別協賛しています。2014年11月の大会は天候にも恵まれ、9,604名のランナーが出場しました。有志のサミー社員17名は沿道の給水所ボランティア、そして、遊技機事業およびグループ社員・お取引先からは96名がランナーとして大会に参加しました。約1万人のランナーと大勢のボランティアによって、和やかな市民交流の一日となりました。

「小江戸川越ハーフマラソン」

「佐倉市産業まつり 佐倉モノづくりFesta2015」へ出展

セガ・ロジスティクスサービスでは、事業所のある佐倉市で年一回開催される「モノづくりFesta」に参加し、子ども向けメダルゲームやUFOキャッチャーなどで、大勢の来場者に楽しんでいただいています。千葉県佐倉市内で営まれている様々な製品・特産品・技術・サービス等を通し、市民や多くの方々に佐倉の魅力を伝えるこのイベントには2012年より参加を開始しました。これからも地域密着の企業づくりを目指していきます。

出展ブースの様子

児童養護施設へクリスマスプレゼントを贈呈

SEGA SAMMY GROUP

セガサミー野球部は、活動拠点である八王子市への地域貢献の一環として、市内の児童養護施設へクリスマスプレゼントを届けています。当施設とは定期的に交流を図っており、クリスマス会は、2014年で5回目を数えました。当日は、サンタクロースやキャラクターに扮した選手が、子どもたち一人ひとりにプレゼントを手渡し、一緒に野球や運動を楽しみました。元気いっぱいの子どもたちに参加した選手も元気をもらい、充実した時間を共有しました。

サンタクロースやキャラクターに扮した選手たち

社会支援

絵本を届ける運動

国際貢献活動として、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会※の「絵本を届ける運動」に賛同し、グループ社員から不要な古本等を回収したお金で絵本を購入、現地語訳のシールを貼って現地へ送る活動を行っています。7年目の2014年度は、グループ企業19社の社員が参加し、セガサミーグループが送った絵本の総数は988冊になりました。

※ シャンティ国際ボランティア会「絵本を届ける運動」：貧困や内戦によって不安と悲しみを抱える子どもたちの安らぎ、楽しみになることを祈って、子ども向けの図書がほとんど出版されていないカンボジア、ラオス、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタンへ、現地語訳のシールを貼った日本の絵本を届ける活動。

子どもと現地語のシールを本に貼る社員

「ピンクリボン運動」の推進

セガサミーゴルフエンタテインメントは、乳がんの早期発見を啓発する「ピンクリボン運動」を継続的に推進しています。2014年10月に開催した第6回「ピンクリボンチャリティレディスコンペ」では、札幌出身の中田美枝プロを囲み、参加者29名のご協力により「ピンクリボン in SAPPORO」※へ6万円寄付をしました。これからも地域の皆さまのご協力のもと、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療を伝えるピンクリボン運動を、引き続き推進していきます。

※ ピンクリボン in SAPPORO：乳がんへの意識を高め検診の必要性を訴えかけていくとともに、患者、医療関係者、市民の交流の場づくりを目的として様々な活動を展開する団体。

社長の太田（左）と講話をしてくださった札幌医科大学附属病院特任准教授 大村東生先生（右）

NPOとの協働による玩具の寄贈と玩具除菌活動

「本業を通して社会課題の解決に貢献したい」と考え、毎年度セガトイズのおもちゃを非営利団体に寄贈しています。今年で6年目を迎えたこの取り組みは当社グループが、認定特定非営利法人日本NPOセンターとともに寄贈先を選定しています。

2014年度は、小児がんや小児の難病治療の家族を支援する特定NPO法人ファミリーハウスへ、約500点の玩具を寄贈しました。また、社員が宿泊施設を定期的に訪問し、ボランティアの方々と玩具やぬいぐるみの除菌・修繕作業を行っています。

玩具やぬいぐるみの除菌・修繕作業をする社員

障害者クロスカントリースキー日本チームの継続的支援

セガサミーグループは、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟のメンバーを母体とするナショナルチームを継続的に支援しています。同連盟は、障がい者およびその関係者がクロスカントリースキーに親しみ、競技力の向上と同競技の振興と普及を図ることを目的とする組織です。『障害のある方たちに、クロスカントリースキーの楽しさを知っていただき、健康な体づくりを目指してほしい。パラリンピックなどを目指す障害のある青少年に夢を与えたい。』という思いで活動する同チームにこれからも声援と支援を続けます。

障害者クロスカントリースキー日本チーム

セガヨーロッパにおける寄付活動

セガヨーロッパでは、社員自らのアイディアにより、恵まれない家庭環境の子どもや若者を支援する団体KIDS COMPANY、ケニヤ・ナイロビ国立公園内象の保育園THE DAVID SHELDRICK WILDLIFE TRUST、モザンビークの孤児院MAMOLI MISSION ORPHANAGE、そして英国ROYAL SURREY病院などに、寄付を実施しました。また、地元のフードバンクへ寄付するために社員が持ち寄った缶詰や様々な食糧は、16箱にもおよびました。2014年度、社員によって拠出された寄付金は1,180ユーロでした。

社員が持ち寄った食糧を地元のフードバンクに寄付

スポーツ・芸能・文化支援

「TOKYO JAZZ FESTIVAL」への特別協賛

セガサミーグループは、世界中から一流のジャズアーティストが一堂に会する国内最大級のイベント、東京ジャズフェスティバルへの協賛を毎年度継続しています。「新しい文化の発信」「ジャズの継承と発展」「文化のクロスオーバー」というコンセプトのもと、トップアーティストがパフォーマンスを繰り広げます。第14回を迎える2015年度も引き続き協賛することで、国境や世代の垣根を越えて聞くものを魅了、感動させるジャズ、音楽の力を通し、これからも文化の発展に寄与し続けます。

TOKYO JAZZ Festival@東京国際フォーラム

松田丈志presents“自分超えチャレンジ！”水泳教室inフェニックスシーガイア

セガサミーホールディングス所属の松田丈志選手とコーチの久世由美子氏が、出身地宮崎で水泳教室を2015年4月に開催しました。県内のジュニアスイマー育成を目的とし、2014年度に引き続き第二回目となる本イベントでは、水泳の技術指導のほか、夢をかなえるためにやってきたこと、身体づくりと食育のアドバイス、チャレンジすることの大切さなどを伝えました。日本代表の泳ぎを間近で見て、直接ふれあう機会を持つことは、子どもたちに大きなプラスになりました。

子どもを指導する松田丈志選手

第6回「セガサミーカップ学童軟式野球大会」

セガサミーグループは、東京都学童野球のレベルアップという大会の目的に賛同し、特別協賛しています。2014年度で6回目となる「セガサミーカップ学童軟式野球大会」は、八王子市のセガサミー野球場にて、11月に開催されました。開会式では、2014年度より野球部の指揮を執る初芝清監督が「野球を通していろいろなことを学んでほしい。そしてご両親に感謝の気持ちを持って思い切りプレーしてほしい」と選手を激励しました。大会初日には、セガサミー野球部員による野球教室も開催され、選手も混じってノックを受けるなど、楽しみながら野球技術を学びました。

「セガサミーカップ学童軟式野球大会」開会式

VOICE

野球は生活の一部。
チームにいい影響を与える選手でいたい

セガサミー野球部　株式会社トムス・エンタテインメント　総務部　**川端裕也**

入部9年目ですが、思いがけずこの年まで野球ができ、社員の皆さんの応援、そして野球ができる環境を与えてくれている会社に感謝しています。

当初は野球のことで精一杯でしたが、児童養護施設訪問、東日本大震災募金活動、野球教室等に参加するうち、自分たちの存在意義を考え、行動するようになりました。試合で勝つことはもちろん、地域に貢献することで、グループの価値を上げることも大切だと感じています。また、チームを引っ張る年長者として、プレーでも言動でも後輩の模範となり、つらい時ほど上を向いて、チームにいい影響を与えていきたいと思っています。

第三者意見

上智大学
経済学部教授
上妻 義直 氏

このコメントでは、セガサミーグループの「CSR Report 2015」を拝見し、評価したい取り組みと今後の期待事項について、筆者の主観的な意見を述べています。

1. CSRマネジメントのグループ展開

2014年度はCSRマネジメントのグループ展開に大きな進捗がありました。とりわけ重要な成果は報告書の改革です。これまでは、取り組み実績が「セガ」「サミー」「その他のグループ会社」に分けて報告されており、各CSR課題に対するグループ全体のパフォーマンスを評価するのが困難でした。しかし、2014年度に行われた事業セグメントの再編を契機に、グループCSR方針とパフォーマンスの関係がよく整理されて、とてもわかりやすい報告書になりました。グループの経営理念体系とCSR方針が「マネジメント」区分にまとめられたことも、グループCSRマネジメントの理解に対する視認性を向上させています。

取り組み内容では、現在も継続中の東日本大震災復興支援活動における社員ボランティアや意欲的な企画であるCSRワークショップが共に完全なグループベースで実施されており、マネジメント層向けのCSR研修と併せて、CSRマネジメントのさらなるグループ展開を期待させる成果になっています。

2. 女性の働きやすい職場作り

セガサミーグループの従業員は20%強が女性であり、そのうち半数近くは非正規雇用です。そのため、ワークライフバランス施策やダイバーシティ施策が優れていなければ、女性従業員の貢献を長期的な企業成長に結びつけることができません。しかし、データで見ると、女性管理職者数･管理職比率は増加傾向にあり、女性の働きやすい職場作りに一定の配慮が行われていると推察できます。とくに男性の育児休業取得者数が経年的に増加していることは特徴的な傾向で、これらの諸施策が十分に機能している状況を示唆しています。2015年6月には、埼玉県が実施する「多様な働き方実践企業」認定制度において、サミー川越工場が「ゴールド認定」を受けました。これもこの取り組み分野の大きな成果になっています。

3. 開示面での改善

2014年度は開示面でもいくつかの改善が見られます。まずは「人事・労務に関するデータ」が大幅に増加したことです。外国子会社の現地人役員数、各役職階層別の女性比率、定年後再雇用者数、育児休業復職者数・復職率、男性の育児休業取得期間、月平均時間外労働時間、労災度数率など、CSRマネジメントを評価する上で重要なデータが一気に開示されました。雇用政策の実効性に対するセガサミーグループの自信を表すものとして高く評価したいと思います。また、報告バウンダリーに関しても、対象範囲が明確に特定され、連結正規雇用者数に対するカバー率が開示されるなど、大幅な改善が行われています。いずれもデータ管理が丁寧に行われている証拠です。

4. 今後の課題

最大の課題は定量的な目標・実績管理の実現ですが、そのシステム構築には時間がかかりますので、今後も努力を継続していただきたいと思います。報告バウンダリーの完全な連結ベース化も検討が必要な事項であり、データ収集プロセスを含む早期の対応が望まれます。また、環境マネジメントに関しても、CO_2排出量が増加傾向を示しているので、PDCAの有効性評価が必要であるように思います。

第三者意見をいただいて

セガサミーホールディングス株式会社
執行役員　グループCSR推進室長
石倉 博

エンタテインメント分野の変化は非常に早く、この変化に迅速に対応する体制を構築すべく当グループは2015年4月にグループ再編を行いました。激しい変化に迅速に応え、安心安全など守るべき部分は守りつつ、グループとしての更なる進化を成し遂げてまいります。

上妻先生からのご意見のように、本レポートではグループ全体としての方針や活動状況の明確化と人事・労務データ等の開示項目拡大に重点的に努めました。

またマネジメント層へのCSR研修を進めるとともに現在では一般社員層向けにも着手しており、グループ全体への浸透を推進したいと考えております。

東日本大震災復興支援につきましても復興フェーズにおいてこそエンタテインメント企業としての特徴を活かすことができると信じ、イベント参加など被災地を明るくする活動を継続しております。

ご指摘いただきますように、ワークライフバランス、ダイバシティー、環境マネジメントに関し持続的な改善が進める体制作りが課題であると受け止めております。情報開示面での一層の充実も含め、改善を続けてまいります。

セガサミーホールディングス株式会社

グループCSR推進室
〒105-0021　東京都港区東新橋一丁目9番2号 汐留住友ビル
TEL:03-6215-9055
URL:http://www.segasammy.co.jp

アニュアルレポートとの関連性

アニュアルレポートでは財務情報を中心に報告し、CSRレポートでは非財務情報を中心に報告しています。CSRレポートに掲載されていない財務情報の詳細については、ホールディングスWEBサイトIRページをご覧ください。

Web http://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/index.html

免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

だれにも読みやすい、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。